









安全上のご注意

表示について



本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

| | |
|---|--|
|  警告 ... | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 ... | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |





表示の例

| | |
|--|--|
|  |  記号は注意を促す内容があることを告げるものです。 |
|  |  記号は禁止の行為であることを告げるものです。  の中に具体的な禁止内容が描かれています。 (左図の場合は、“分解禁止”を表します) |
|  | 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 の中に具体的な指示内容が描かれています(左図の場合は、“アースを接続してください”を表します)。 |




警告

| | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">・アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を販売店またはサービス実施店に相談してください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。・延長コードの使用は避けてください。・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。 |


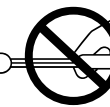


本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

| | |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザーを使用している機器の場合はレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。・ この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザーを使用している機器の場合はレーザー光線による被爆の恐れやレーザー光洩れにより失明の恐れがあります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐにメインスイッチ（機種によってはバックアップスイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けしないでください。・ 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まずメインスイッチ（機種によってはバックアップスイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。機械の上に置いたものがこぼれたり、機械の中に入った場合、火災や感電の原因になります。・ 本機背面のアイボルトを使って本体を吊り下げないでください。脱落して、落下する恐れがあります。 |

⚠ 注意

| | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械を移動するとき、レベラーとストッパー金具を上げて、必ず左右2箇所の移動用取っ手を持ち、移動してください。取っ手以外の部分に手をかけると指をはさむなど、けがの原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械を移動したらレベラーで固定して、ストッパー金具を床面にあてて固定してください。動いたり、倒れたりして、けがの原因になります。 |

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

| | |
|---|--|
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。・ 連休などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">・ この機械の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になります。 |

お願い

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオからできるだけ離す
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
- ・ コンセントを別にする

電波障害自主規制について

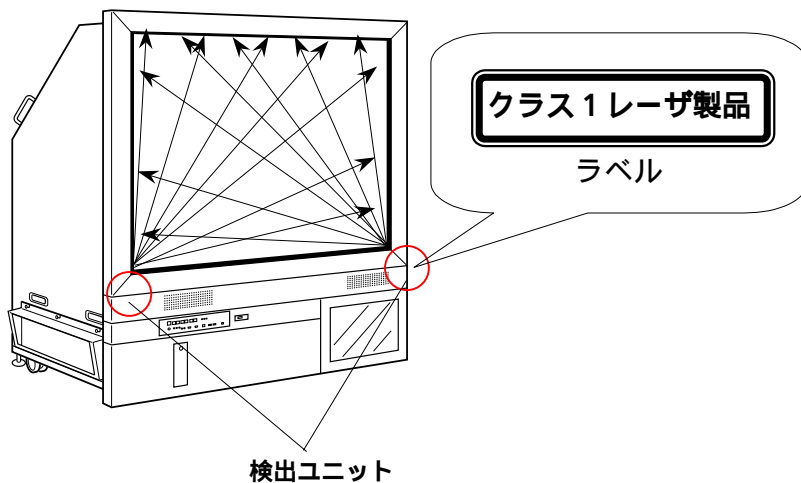
この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、商工業地域で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

本機は「クラス1レーザー製品」です。

レーザー光は、下図のように検出ユニットから対角のスクリーンの額に向かって、扇形に放射されています。

また、クラス1レーザー製品を示すラベルが、本機内部にある2箇所の検出ユニットに貼付されています。



商標

Windows は、米国 MICROSOFT 社の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

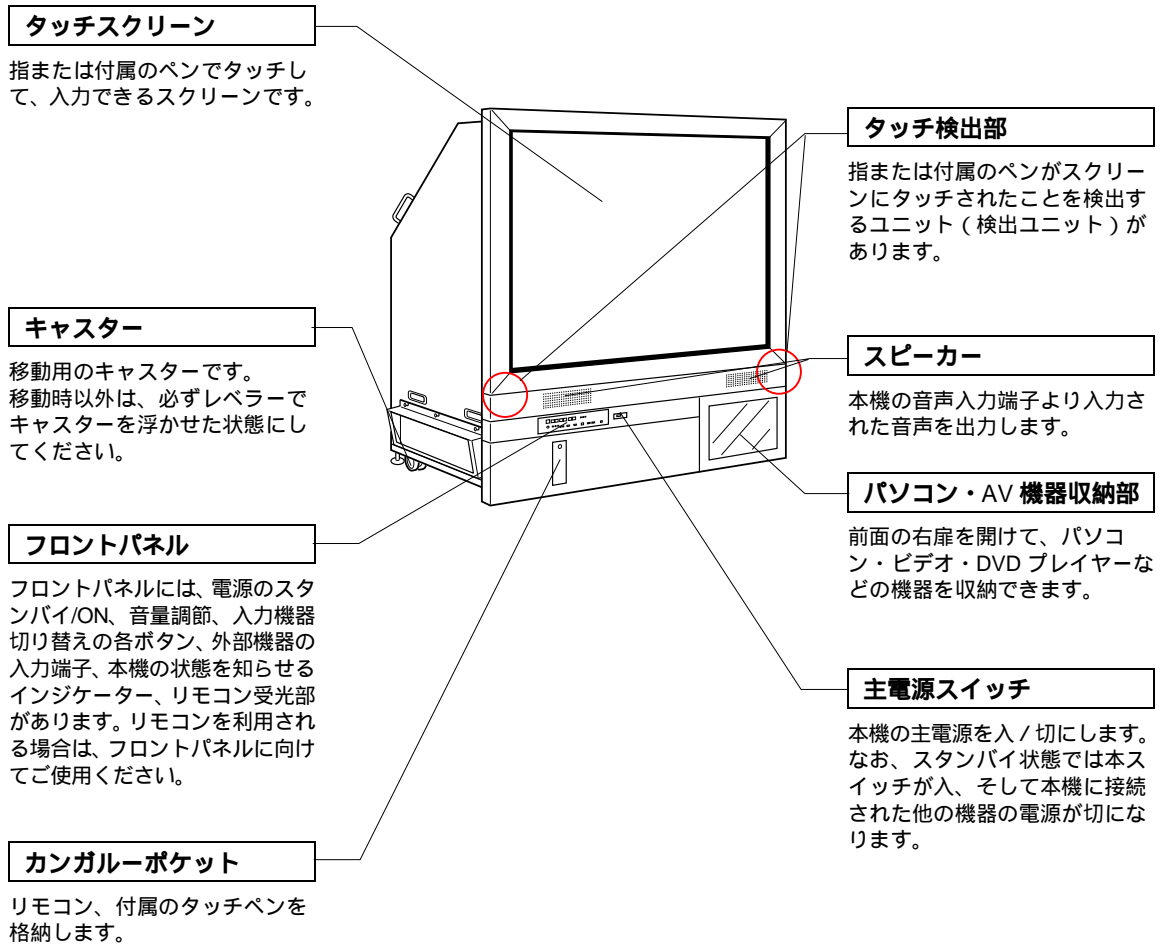
目次

| | |
|----------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 1 |
| 目次 | 5 |
| 1 各部の名称とはたらき | 7 |
| 本体正面 | 7 |
| 本体背面 | 8 |
| フロントパネル部 | 9 |
| リアパネル | 10 |
| ワイヤレスリモコン | 11 |
| 2 使用前の準備 | 12 |
| 移動および設置 | 12 |
| ストッパー金具の取り付け方法 | 14 |
| ワイヤレスリモコンの取り扱い | 16 |
| 本機主電源の接続 | 17 |
| 収納部内機器の電源の接続 | 18 |
| パソコンの接続方法 | 19 |
| AV 機器の接続方法 | 22 |
| キーボードテーブルの取り付け | 24 |
| 3 使用方法 | 26 |
| 本機の電源の入/切について | 26 |
| 主電源スイッチの入れ方 | 26 |
| 電源のスタンバイ / ON | 27 |
| 主電源スイッチの切り方 | 28 |
| タッチパネルの使用方法 | 29 |
| 操作作用ワイヤレスリモコンの使い方 | 29 |
| フロントパネルの使い方 | 32 |
| 4 映像設定メニューの使い方 | 35 |
| 5 リコータッチパネルドライバーの使い方 | 40 |
| リコータッチパネルドライバーについて | 40 |
| 設定情報の管理 | 46 |
| リモコンキー設定 | 48 |

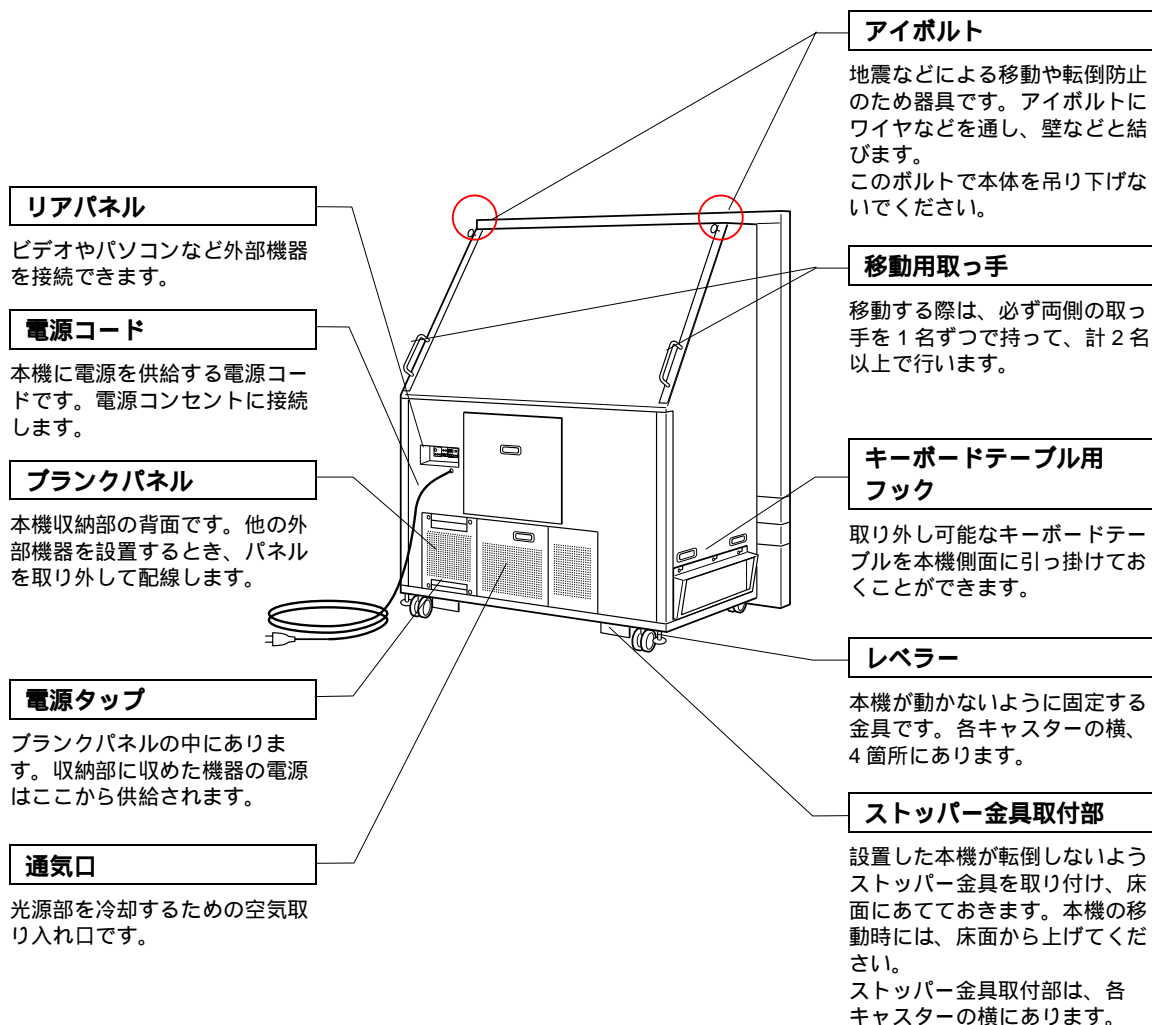
| | |
|-----------------------|----|
| 初期設定..... | 58 |
| 管理者情報の表示..... | 63 |
| 6 マルチディスプレイ | 66 |
| 7 使用上の注意 | 70 |
| 8 異常時の処置 | 72 |
| 9 修理を依頼する前に | 73 |
| 現象による状態チェックと処置..... | 73 |
| インジケーターによる状態チェック..... | 76 |
| 本機の状態と処置..... | 78 |
| メッセージによる状態表示と処置..... | 79 |
| 10 お手入れ | 81 |
| 外装のお手入れ..... | 81 |
| 内部の掃除..... | 81 |
| 光源ランプの交換..... | 81 |
| 11 アフターサービスについて | 83 |
| 12 仕様 | 84 |
| 製品仕様..... | 84 |
| 外形寸法図..... | 85 |
| 設置スペース..... | 86 |
| 13 技術資料 | 87 |
| プロジェクタの映像調整..... | 87 |
| 登録されている RGB 信号形式..... | 96 |
| 索引 | 97 |

1 各部の名称とはたらき

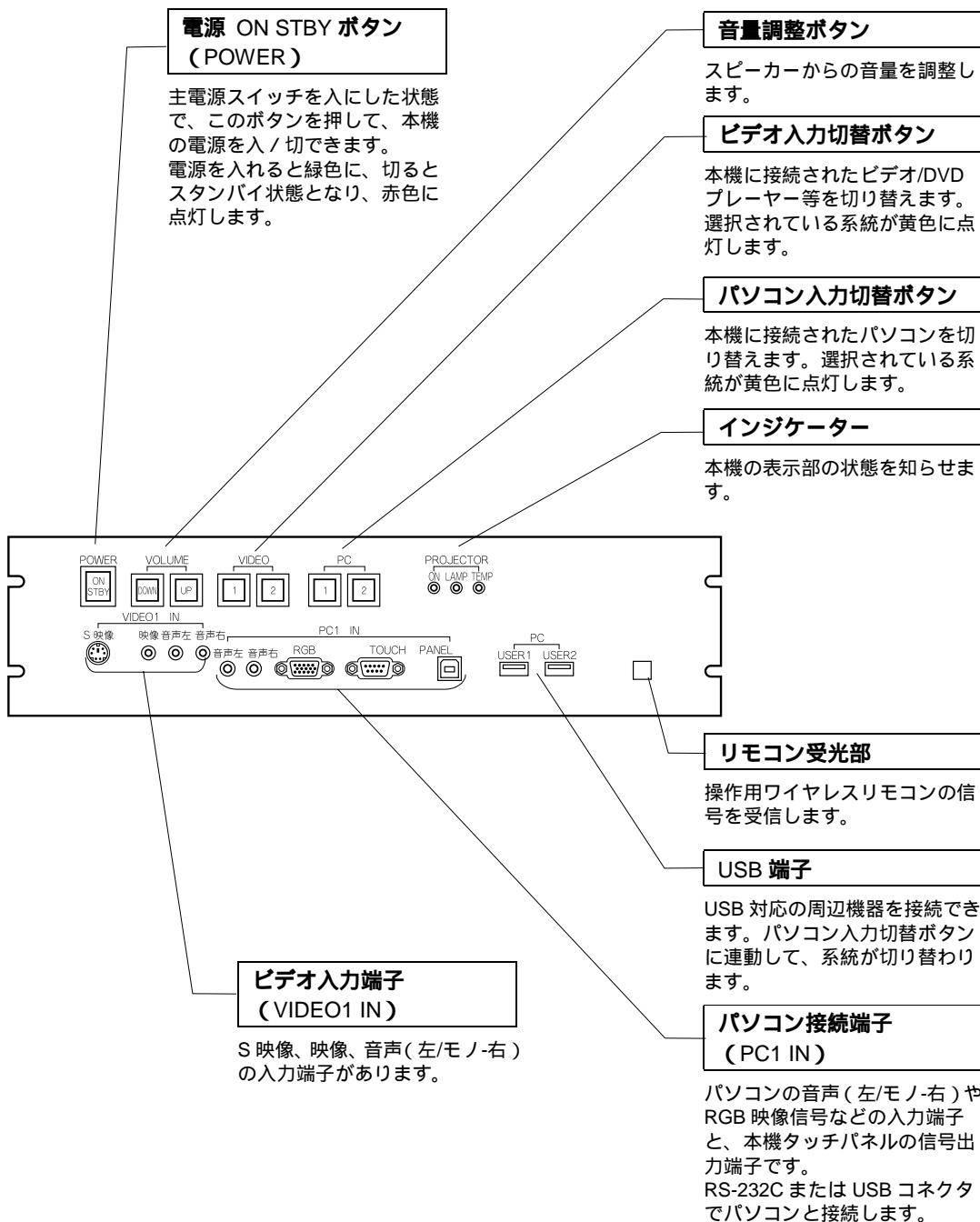
本体正面



本体背面

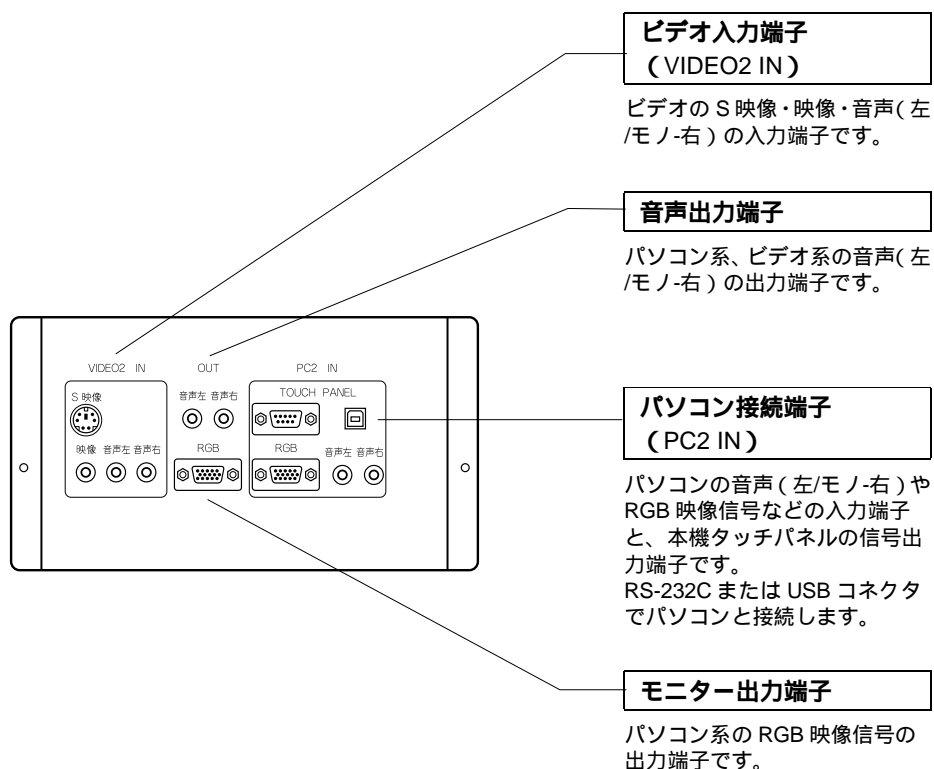


フロントパネル部



パソコンの接続方法は「パソコンの接続方法」(P.19)を、AV 機器、周辺機器の接続方法は「AV 機器の接続方法」(P.22)を参照してください。

リアパネル



パソコンの接続方法は「パソコンの接続方法」(P.19)を、AV機器、周辺機器の接続方法は「AV機器の接続方法」(P.22)を参照してください。

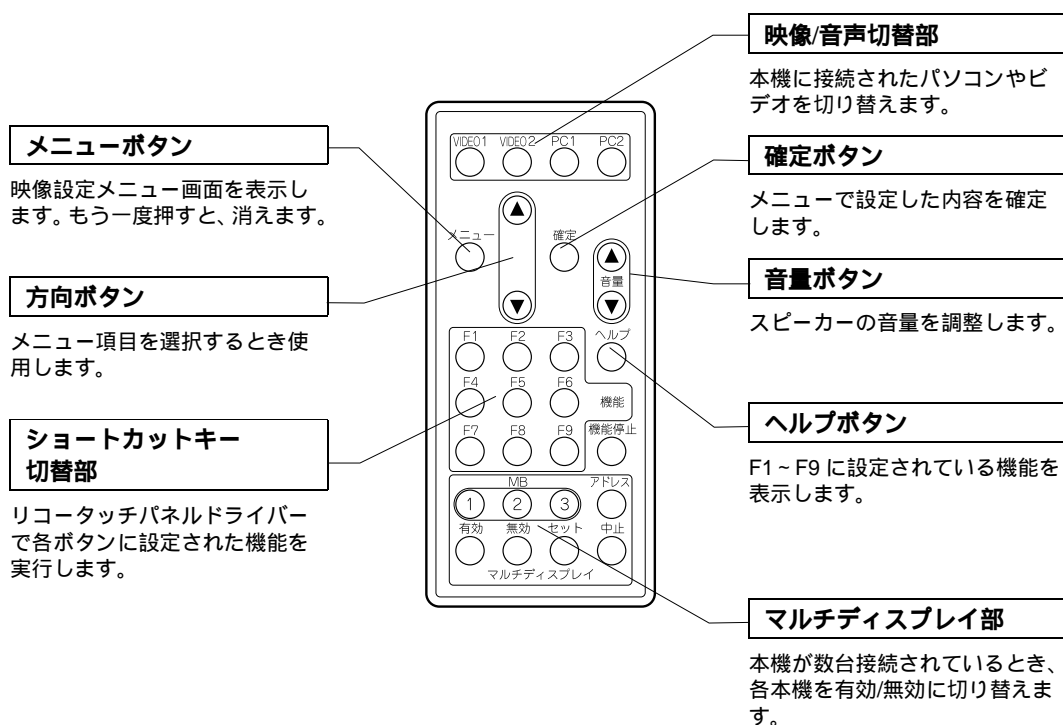
ワイヤレスリモコン

本機には、操作用ワイヤレスリモコンと画像調整用ワイヤレスリモコンがあります。操作用ワイヤレスリモコンでは、スクリーンの映像の調整、音量調節、入力機器切り替えなどの操作または制御ができます。通常は、操作用ワイヤレスリモコンを使用します。ただし、ビデオなどの映像を見る場合、タッチパネル機能が使用できない場合は、スクリーンの映像を調整する専用の画像調整用ワイヤレスリモコンを使用します。

操作用ワイヤレスリモコン

操作用ワイヤレスリモコンのキー操作については、「 操作用ワイヤレスリモコンの使い方」(P.29)を参照してください。

重要 操作用ワイヤレスリモコンは、インジケータ部のリモコン受光部に向けて操作してください。



画像調整用ワイヤレスリモコン

画像調整用ワイヤレスリモコンのキー操作については、「 プロジェクタの映像調整」(P.87)を参照してください。

2 使用前の準備

移動および設置

警告

設置の際には、4箇所のレベラーで各キャスターを床面から浮かし、必ず付属のストッパー金具を取り付けてください。
ストッパー金具を下ろした状態にしないと、倒れたりしてケガの原因となります。

開梱・設置

本機の質量（重量）は、約 185kg あります。お客様が開梱・設置を行うと倒れたりして、けがの原因となりますので、開梱・設置は最寄りの販売店へご依頼ください。

移動

本機の質量（重量）は、約 185kg あります。移動するときは、倒してけがの原因とならないよう、次の注意をよくお読みになってから作業してください。

注意

- ・ストッパー金具を上にならして床面から離してください。
 - ・各レベラーを回転させて、移動に支障がなくなるまで上げてください。
 - ・移動は二人以上で行い、必ず移動用取っ手を握り、静かに移動してください。画面の枠（額縁）を持って、移動しないでください。
 - ・移動後は、必ず4箇所のレベラーを下ろし、ストッパー金具も下して固定してください。
-

据付

据付は、スクリーンの内部に水分やほこりなどが入ったり、内部の温度が上昇して火災・感電の原因とならない場所を選んでください。次の警告と注意をよくお読みになってから、作業してください。

警告

- ・傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
- ・通風口をふさがないように据付けてください。
- ・風通しの悪い狭い場所に置かないでください。

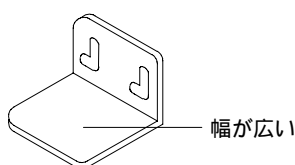
注意

- ・湿気やほこりの多い所に置かないでください。
- ・油煙や湯気が当たるような所に置かないでください。
- ・直射日光が当たる所や熱器具の近くに置かないでください。
- ・本体上部からの強い光（特に白熱灯）や窓からの直射光が入る場所には置かないでください。
- ・据付位置が決まったら、4 箇所のレベルでキャスターを床面から浮かしてください。このとき、本体が水平になるようにしてください。そして、ストッパー金具を床面に下ろしてください。

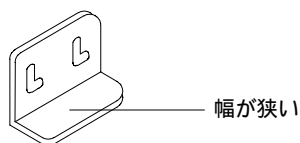
ストッパー金具の取り付け方法

本機には、転倒防止のためのストッパー金具が用意されています。設置の際には、必ず前後面のストッパー金具取付部（4箇所）にストッパー金具を取り付けてください。また、地震などによる移動、転倒防止のため、本機背面上部にアイボルトがあります。このアイボルトにワイヤなどを通し、壁と結びます。

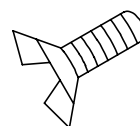
取り付け部品



ストッパー金具（前）
数量：2個



ストッパー金具（後）
数量：2個

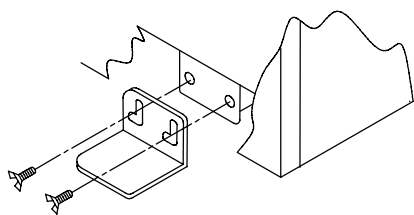


固定用蝶ボルト
数量：8個

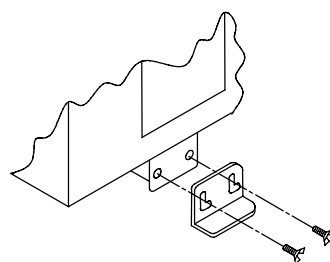
取り付け方法

ストッパー金具（前）2個およびストッパー金具（後）2個を、本機キャスターの横にある各ストッパー金具取付部に固定用蝶ボルト2本で、手で締めて取り付けます。

前面に取り付ける金具と後面に取り付ける金具は形状が異なります。ストッパー金具（前）を前面に、ストッパー金具（後）を後面に取り付けます。前後を間違えないように取り付けてください。



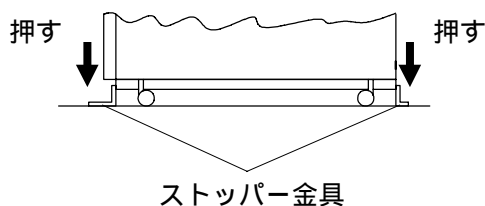
本機前面には、床面に接する部分の幅が広いストッパー金具（前）を取り付けます。



本機後面には、床面に接する部分の幅が狭いストッパー金具（後）を取り付けます。

<ストッパー金具を取り付ける際の注意>

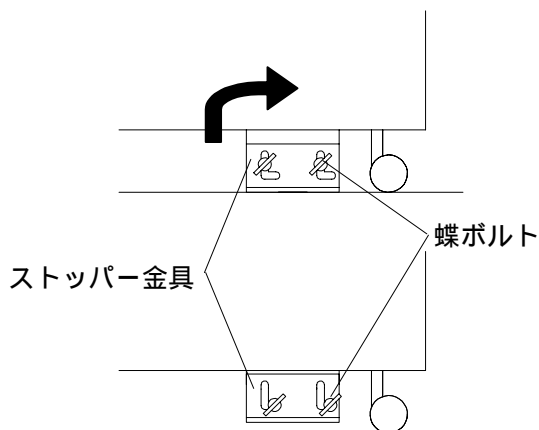
ストッパー金具を取り付ける際、レベラーでキャスターを床面から浮かした状態で、金具を床面に接するよう押さえて取り付けます。床面と接することで、本機の転倒を防止します。



ストッパー金具の動かし方

本機を移動する場合は、ストッパー金具を床から離してレベラーを上げた状態で作業します。移動後は、必ずレベラーでキャスターを床面から浮かして、ストッパー金具を床に接するようにしてください。

ストッパー金具は、以下のようにして動かします。

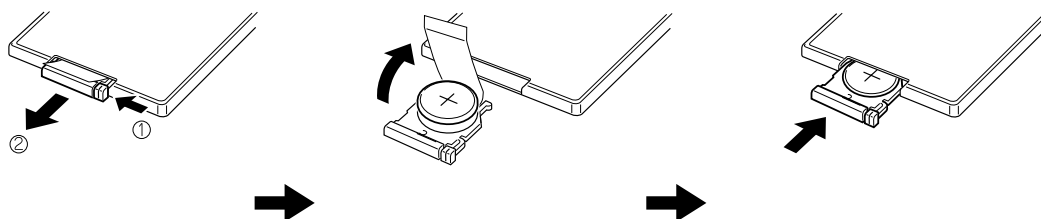


1. 固定用蝶ボルトを緩めて、ストッパー金具を上を上げます。金具の溝に沿って、横にスライドさせます。
2. スライドさせた後、ストッパー金具が上がった状態で、固定用蝶ボルトを締めて、固定します。

ワイヤレスリモコンの取り扱い

電池の入れ方

操作用ワイヤレスリモコンには、あらかじめボタン電池（CR2025）が入っています。初めて使用するときには、プラスチックの絶縁フィルムを抜いてください。



1. 電池ふたにツメをかけて、引き抜きます。
2. プラスチックの絶縁フィルムを抜き取ります。
3. 電池ふたを、矢印の方向に押し閉めます。

[電池の交換]

ボタン電池は CR2025 型を使用してください。上記の手順を参考に、ボタン電池を交換します。電池の + / - の向きを確認して、表示のとおりに入ってください。

⚠ 注意

< 電池の使用上のご注意 >

- ・ 破裂、故障の恐れがありますので、充電、ショート、火中に投入、加熱、分解しないでください。
 - ・ + と - の向きを確認して、表示のとおりに入ってください。
 - ・ 電池の交換には、リコー指定のものを使用してください。
-

ワイヤレスリモコン使用上のご注意

- ・ワイヤレスリモコンを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ・ワイヤレスリモコンに水をかけたり、濡れたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- ・ワイヤレスリモコンを長時間ご使用にならない場合は、電池をワイヤレスリモコンから取り出しておいてください。
- ・ワイヤレスリモコンが動作しなくなったり、操作できる距離が短くなったりしたときは、新しい電池に交換してください。
- ・本機のリモコン受光部に直射日光などの強い光があたると、ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。本機を使用する際は、光がリモコン受光部に直接当たらないように、ブラインドで遮光したり、本機の向きを変えたりしてください。

本機主電源の接続

本機主電源の電源コードは、背面のリアパネルから出ています。電源プラグを AC100V 電源コンセントに差し込みます。

警告

表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
電波障害防止のために電源コードは、接地極付コンセントに接続してください。

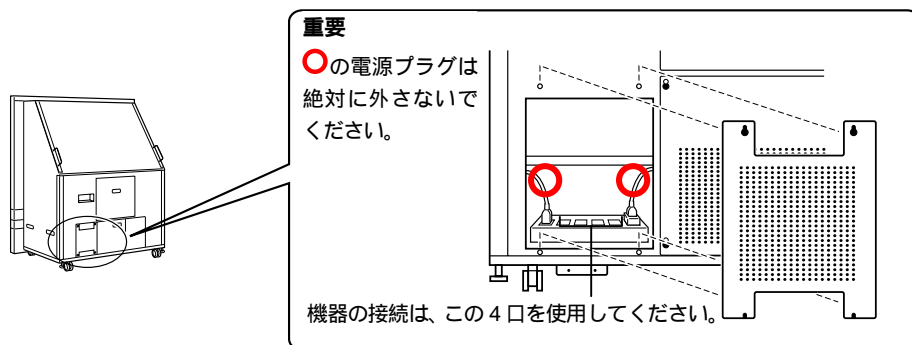
収納部内機器の電源の接続

⚠ 警告

本機収納部内の電源タップに機器を追加して接続される場合は、総容量 700W 以下でお使いください。火災・感電の原因となります。

本機の収納部に設置した外部機器の電源を接続する場合は、収納部にある電源タップに接続します。電源タップは、本機背面左下のブランクパネルの中にあります。ブランクパネルは、4 箇所のつまみねじを手で回して、取り付け/取り外しができます。

電源タップには、本機内部にあるプロジェクタとオーディオアンプの電源プラグが接続されています。これらの電源プラグは絶対に動かしたり、外したりしないでください。パソコンやビデオなどの機器の電源プラグを接続する場合は、電源タップの残りのコンセント（4 口）を使用します。



重要

- ・電源タップは、本機のスタンバイ/ON の状態に連動します。スタンバイ状態では、通電されません。
- ・AV 機器を接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。

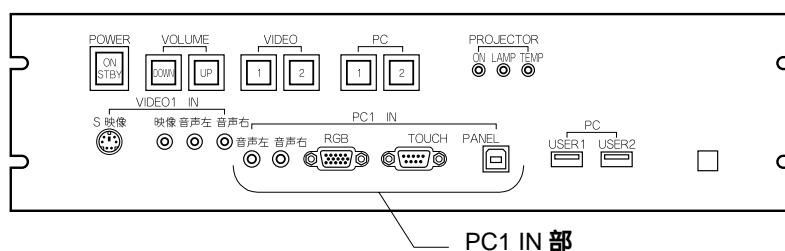
パソコンの接続方法

本機には、フロントパネルとリアパネルにパソコンを接続できます。

フロントパネルへの接続

フロントパネルの PC1 IN 部の各端子に、パソコンのケーブルを接続します。

重要 パソコンを接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。

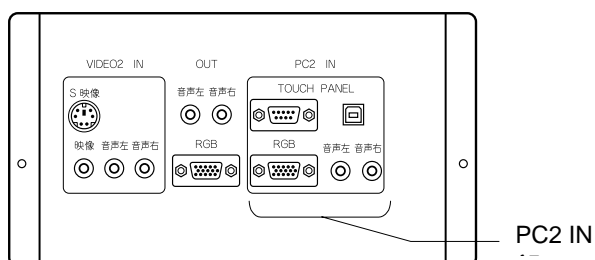


1. 本機の主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。
2. テーブルなどを用意して、パソコンをテーブルの上に置きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、パソコンのディスプレイコネクタと、フロントパネルの RGB 端子に接続します。
4. RS-232C ケーブルを使用する場合はパソコンの使用する COM ポートと、または USB ケーブルを使用する場合はパソコンの USB 端子と、フロントパネルの TOUCH PANEL 端子に接続します。RS-232C ケーブルは、ストレートケーブルをお使いください。
RS-232C ケーブルと USB ケーブルを同時に接続した場合は、USB の信号が優先されます。
5. オーディオケーブルを、パソコンの AUDIO OUT と、フロントパネルの PC1 IN 部分にある音声左と音声右の端子に接続します。
6. パソコンの電源ケーブルの電源プラグを AC100V 電源コンセントに差し込みます。

リアパネルへの接続

リアパネルの PC2 IN 部の各端子に、パソコンのケーブルを接続します。

重要 パソコンを接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。



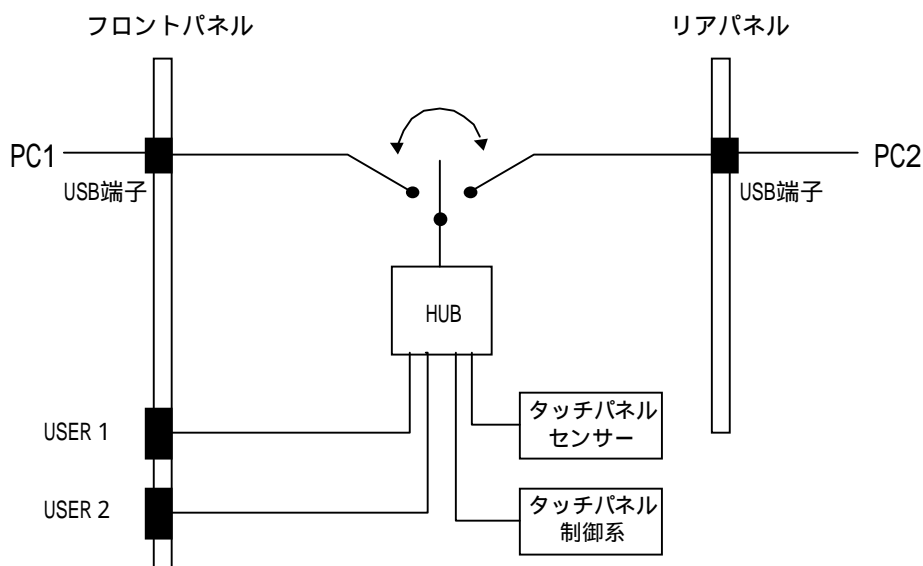
1. 本機の主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜きます。
2. 本機前面下の右扉を開けて、パソコンを設置します。
そして、背面のブラックパネルを取り外します。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、パソコンのディスプレイコネクタと、リアパネルの PC2 IN 部分にある RGB 端子に接続します。
4. RS-232C ケーブルを使用する場合はパソコンの使用する COM ポートと、または USB ケーブルを使用する場合はパソコンの USB 端子と、フロントパネルの TOUCH PANEL 端子に接続します。RS-232C ケーブルは、ストレートケーブルをお使いください。
RS-232C ケーブルと USB ケーブルを同時に接続した場合は、USB の信号が優先されま
す。
5. オーディオケーブルを、パソコンの AUDIO OUT と、リアパネルの PC2 IN 部分にある
音声左と音声右の端子に接続します。
6. パソコンの電源ケーブルの電源プラグを本機の収納部にある電源タップに接続します
(これにより本機のフロントパネルの POWER スイッチに連動します)。
7. ブラックパネルを取り付けます。

USB 装置の接続

USB 装置には、USB キーボード、USB マウス、USB スキャナ、USB プリンタなどの各種装置があります。フロントパネルの USB ポート (USER1/USER2) に USB 装置を接続するには、フロントパネルまたはリアパネルとパソコンを USB ケーブルで接続します。

なお、USB ポート (USER1/USER2) は、パソコン入力切替ボタンで選択されたパソコンの系統に連動して切り替わります。

[本機内部の USB システム図]



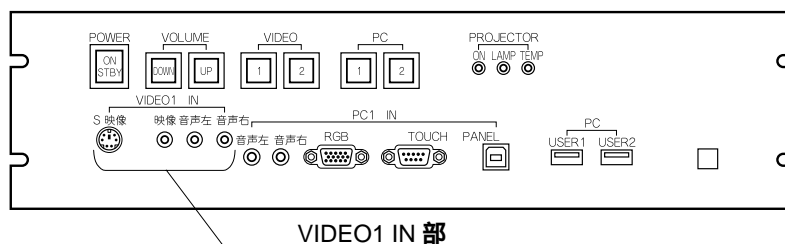
AV 機器の接続方法

本機には、フロントパネルとリアパネルにビデオや DVD プレーヤーなどの AV 機器を接続できます。

重要 AV 機器を接続する前に、本機そして接続する入力および出力機器の電源を切ってください。

フロントパネル

フロントパネルの VIDEO1 IN 部の各端子に、AV 機器のケーブルを接続します。併せて、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



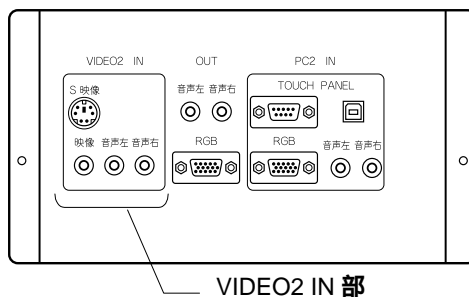
- | | |
|----------|-------------|
| ・ S 映像 | S 映像入力端子です。 |
| ・ 映像 | 映像入力端子です。 |
| ・ 音声入力 左 | 音声入力端子です。 |
| ・ 音声入力 右 | 音声入力端子です。 |

補 足

- ・ VIDEO1 IN の映像端子と S 映像端子は、自動的に信号の有無を判別します。ただし、両方の端子に接続した場合、S 映像端子の信号が優先されます。
- ・ ビデオ機器を映像端子でご利用になる場合、S 映像端子でご利用になることをお勧めします。

リアパネルへの接続方法

リアパネルの VIDEO2 IN 部の各端子に、AV 機器のケーブルを接続します。
併せて、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



- | | |
|----------|-------------|
| ・ S 映像 | S 映像入力端子です。 |
| ・ 映像 | 映像入力端子です。 |
| ・ 音声入力 左 | 音声入力端子です。 |
| ・ 音声入力 右 | 音声入力端子です。 |

補 足

- ・ VIDEO2 IN の映像端子と S 映像端子は、自動的に信号の有無を判別します。ただし、両方の端子に接続した場合、S 映像端子の信号が優先されます。
- ・ ビデオ機器を映像端子でご利用になる場合、S 映像端子でご利用になることをお勧めします。

キーボードテーブルの取り付け

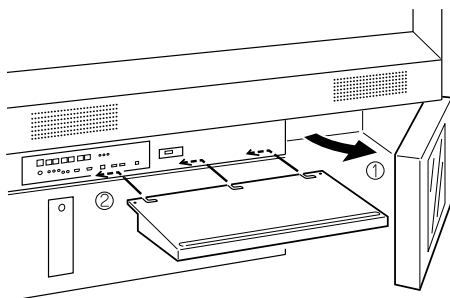
本機には、パソコンのキーボードを載せるキーボードテーブルが同梱されています。キーボードテーブルは、本機フロントパネルの下に引っ掛けて使用します。

⚠ 注意

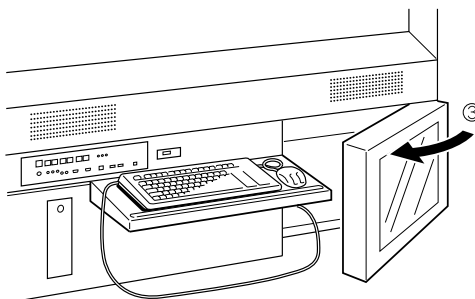
キーボードテーブルには 3kg 以上の機器や物を載せないでください。また、手や足なども載せないでください。

以下の図の手順を参照して、キーボードテーブルを取り付けます。

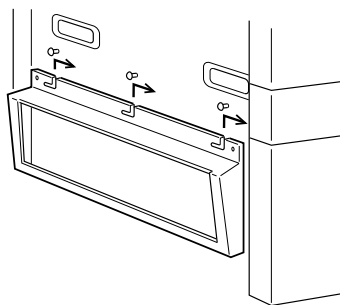
1. パソコン・AV 機器収納部の扉を開きます ()。
2. フロントパネル真下の隙間に、キーボードテーブルを下図のように差し込み、左に移動して固定します ()。



3. 収納部の扉を閉じて ()、テーブルにキーボードやスキャナーを置きます。キーボードケーブルは、扉の下の隙間を通してください。必要に応じて、付属の延長ケーブルをご利用ください。また、フロントパネルの USB ポートに USB キーボードを接続して、使用することもできます。詳しくは、「USB 装置の接続」(P.21)を参照してください。



キーボードテーブルを使用しない場合は、本機左側面に引っ掛けておきます。



3 使用方法

本機の電源の入/切について

本機の電源は、本機に電源を供給する「主電源スイッチ」と、その電源のスタンバイ/ONを切り替えるフロントパネルの「ON STBY ボタン (POWER)」で、電源の入/切を操作します。

例えば、朝の始業時に主電源スイッチを入れておいて、日中の作業で本機を使用する場合にフロントパネルの ON STBY ボタンで電源を入/切にします。そして、終業時に主電源スイッチを切るといように使用します。

主電源スイッチの入れ方

本機を最初に使用するときは、主電源スイッチを入れます。主電源スイッチを入れた後は、フロントパネルの ON STBY ボタン (POWER) で電源の入/切を行います。

1. 本機の主電源スイッチをオンにします。
フロントパネルの ON STBY ボタン (POWER) が緑色に点滅し、同時に PROJECTOR の ON インジケーターが緑色の点滅を始めます。
2. 本機のウォームアップが終了すると、緑色の点灯になります。
3. 本機に接続されている機器の電源を入れます。

重要

主電源スイッチを入れた後、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを起動すると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というダイアログが表示されます。このダイアログが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。

誤って、触ってしまった場合は、「サービスマンコール」のダイアログが表示されます。この場合、フロントパネルのパソコン入力切替ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用している系統に戻します。再度初期化中を示すダイアログが表示されるので、このダイアログが消えるまでタッチパネルに触らず待っててください。

電源のスタンバイ / ON

主電源が入の状態になっているとき、フロントパネルの ON STBY ボタン (POWER) で本機の電源のスタンバイ / ON ができます。

電源のスタンバイ / ON を行うと、ON STBY ボタン (POWER) が次のように点灯し、本機の状態と収納部内にある電源タップの通電状態を知らせます。

| 電源の状態 | ボタンの表示 | 本機の状態 | 電源タップの状態 |
|------------|--------|-------------|-------------|
| 電源が入のとき | 緑色の点灯 | 表示部のランプが点灯。 | AC 電源が入の状態。 |
| スタンバイ状態のとき | 赤色の点灯 | 表示部のランプが消灯。 | AC 電源が切の状態。 |

⚠ 注意

- Windows パソコンが接続されていて、Windows を起動している場合で、電源をスタンバイ状態にするときは、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。
- Macintosh パソコンが接続されていて、システムが起動している場合で、電源をスタンバイ状態にするときは、必ずシステムを終了し、パソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

重要

- スタンバイ状態にした直後に電源を入れると、スクリーンに映像が表示されるまで 2 分ほどかかります。
- 電源を入れた後、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンを起動すると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というダイアログが表示されます。このダイアログが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。
誤って、触ってしまった場合は、「サービスマンコール」のダイアログが表示されます。この場合、フロントパネルのパソコン入力切替ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用している系統に戻します。再度初期化中を示すダイアログが表示されるので、このダイアログが消えるまでタッチパネルに触らず待っててください。

主電源スイッチの切り方

本機で作業が終了したら、以下の手順に従って、主電源スイッチを切ります。

1. パソコンが接続されている場合は、オペレーティングシステムを終了し、電源を切っておきます。
2. フロントパネルの ON STBY ボタン (POWER) を押します。
ON STBY ボタンが赤色に点灯し、スタンバイ状態となります。
また、PROJECTOR の ON インジケーターが黄色に点滅し、表示部のランプが消えます。約 1 分後ファンが止まり、PROJECTOR の ON インジケーターは黄色の点灯となります。
3. ランプを冷やすために、1 分程度待ちます。
4. 主電源スイッチを切にします。
フロントパネルの ON STBY ボタンと ON インジケーターが消灯します。

⚠ 注意

- ・フロントパネルの ON STBY ボタンを押した直後に、主電源スイッチを切らないでください。必ず、上記の電源の切り方の手順に従ってください。光源ランプの寿命を著しく縮めることになります。
 - ・接続されているパソコンのオペレーティングシステムを終了して、電源を切ることができる状態にしてください。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。
-

重要

- ・主電源スイッチを切った直後に電源を入れた場合、映像がスクリーンに表示されるまで数分間ほどかかる場合があります。
- ・フロントパネルの ON STBY ボタン (POWER) で電源をスタンバイ状態にした直後に、電源を入にした場合、映像がスクリーンに表示されるまで数分間ほどかかる場合があります。

タッチパネルの使用方法

タッチパネルを指で操作する場合は、指の腹をスクリーンに押し当てるようにして、指とスクリーンの角度をできるだけ直角に広げます。そのとき、手や服の袖などがスクリーンから十分離れるようにしてください。指の側面を使用したり、指とスクリーンの角度を狭めて使用すると、操作しても認識されないことがあります。

重要 硬い物でこする、または触ると傷がつく恐れがあります。特に強くこすると傷がつきます。ただし、浅い傷がついた場合はスクリーンの表示にはほとんど影響ありません。

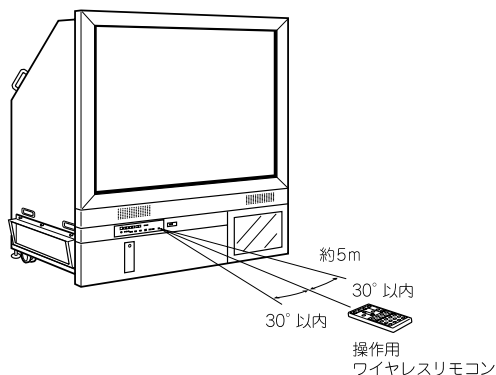
操作用ワイヤレスリモコンの使い方

操作用ワイヤレスリモコンの使用範囲

操作用ワイヤレスリモコンの信号は本機のリモコン受光部で受信します。本機のリモコン受光部の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でご使用ください。

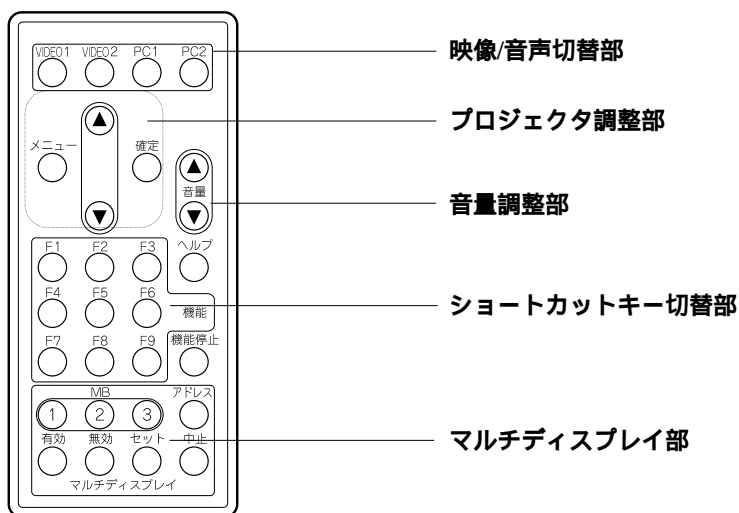
補足

リモコン受光部に直射日光などの強い光があたると、操作用ワイヤレスリモコンで本機を操作できなくなることがあります。光がリモコン受光部に直接当たらないように、ブラインドで遮光したり、本機の向きを変えたりしてください。



操作作用ワイヤレスリモコンのボタン操作

操作作用ワイヤレスリモコンは、常に操作できるボタンとパソコンが接続されて初めて使用できるボタンがあります。映像 / 音声切替部、音量調整部のボタンは、パソコンが接続されていてもいなくても操作できます。しかし、プロジェクタ調整部、ショートカットキー切替部、マルチディスプレイ部のボタンは、リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンが接続されていないと操作できません。



□映像/音声切替部

| ボタン名 | 機能 |
|--------|---------------------------|
| PC1 | フロントパネルに接続されたパソコンに切り替えます。 |
| PC2 | リアパネルに接続されたパソコンに切り替えます。 |
| VIDEO1 | フロントパネルに接続されたビデオに切り替えます。 |
| VIDEO2 | リアパネルに接続されたビデオに切り替えます。 |

□音量調整部

| ボタン名 | 機能 |
|------|-----------------------------|
| | ボタンを押すごとに、スピーカーの音量が大きくなります。 |
| | ボタンを押すごとに、スピーカーの音量が小さくなります。 |

□プロジェクト調整部

このボタンは映像設定メニューで映像を調整します。ただし、本機にリコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンが接続されていないと、操作できません。パソコンが接続されていない本機の映像を調整するには、画像用調整ワイヤレスリモコンを使用します。調整方法は、「プロジェクトの映像調整」(P.87)を参照してください。

| ボタン名 | 機能 |
|------|------------------------|
| メニュー | 映像設定メニューを表示します。 |
| | メニューの各項目を選択します。 |
| | メニューの各項目を選択します。 |
| 確定 | 選択したメニューの項目、設定値を確定します。 |

□ショートカットキー切替部

リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンが本機に接続されている場合、操作用ワイヤレスリモコンのF1～F9のボタンにショートカットキーやマウスポインタなどに機能を割り当てることができます。

これにより、操作用ワイヤレスリモコンから、アプリケーションの起動/終了、ページの切り替えなどの操作ができるようになります。

リコータッチパネルドライバーのインストール、設定方法については、「5 リコータッチパネルドライバーの使い方」(P.40)を参照してください。

| ボタン名 | 機能 |
|-------|--------------------------|
| F1～F9 | 各ボタンに設定された機能を実行します。 |
| ヘルプ | F1～F9に設定されている機能を表示します。 |
| 機能停止 | 選択した機能(F1～F9)の実行を停止させます。 |

□マルチディスプレイ部

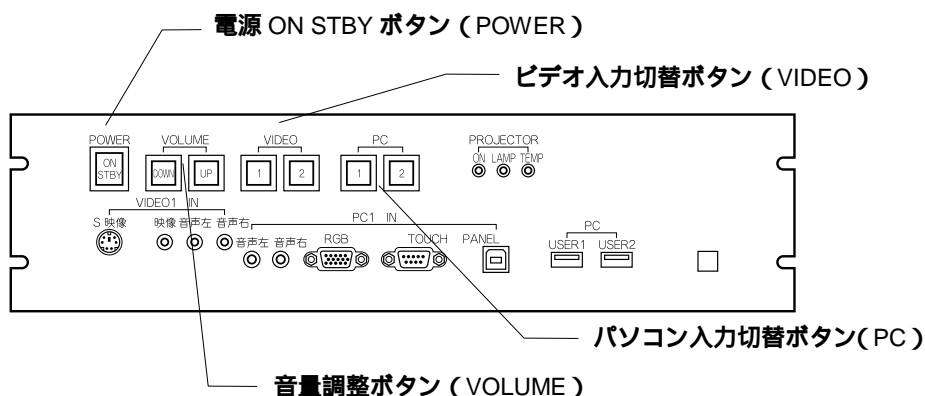
マルチディスプレイ部は、複数台の本機を接続して利用するときを使用します。複数台の本機がマルチディスプレイで表示できるようパソコンと本機が接続されていて、そしてパソコンのWindowsのコントロールパネルでリモコンが有効に設定されているときのみ、操作できます。

マルチディスプレイの操作方法は、「6 マルチディスプレイ」(P.66)を参照してください。

フロントパネルの使い方

フロントパネルでは、電源のスタンバイ / ON、音量調節、入力機器の切り替えを、ボタンによって操作できます。お手元に操作用ワイヤレスリモコンがない場合でも、映像の切り替えや音量調節ができます。また、フロントパネルには、パソコンや AV 機器などを接続する端子もあります。

パソコンの接続方法は「パソコンの接続方法」(P.19)を、AV 機器、周辺機器の接続方法は「AV 機器の接続方法」(P.22)を参照してください。



□電源 ON STBYボタン (POWER)

| ボタン名 | 機能 |
|---------|---|
| ON STBY | <p>ボタンを押すごとに、電源がスタンバイ / ON に切り替わります。電源が ON の状態では緑色に、スタンバイの状態では赤色にボタンが点灯します。</p> <p>また、収納部内の電源タップの通電状態も連動します。スタンバイ状態では、電源タップには通電されません。</p> |

⚠注意

電源をスタンバイ状態にすると、収納部の電源タップからパソコンの電源を供給している場合は、パソコンのオペレーティングシステムを終了し、パソコンの電源が切れている、または電源を切る準備が完了していることを確認してください。

□音量調整ボタン (VOLUME)

| ボタン名 | 機能 |
|------|-----------------------------|
| DOWN | ボタンを押すごとに、スピーカーの音量が小さくなります。 |
| UP | ボタンを押すごとに、スピーカーの音量が大きくなります。 |

□ビデオ入力切替ボタン (VIDEO)

各ボタンを押すと、黄色に点灯します。

| ボタン名 | 機能 |
|------|----------------------------|
| 1 | フロントパネルに接続されたビデオ系統に切り替えます。 |
| 2 | リアパネルに接続されたビデオ系統に切り替えます。 |

重要

リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンが接続され、起動しているとき、どちらかのビデオ系統を 10 分以上使用した状態で、パソコン系統に切り替えると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というダイアログが表示されます。

このダイアログが表示されている間、本機の検出ユニットが動作確認と設定を行います。正常な場合、しばらくしてダイアログボックスが消えます。このとき、ダイアログが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。

誤って、触ってしまった場合は、「サービスマンコール」のダイアログが表示されます。この場合、フロントパネルのパソコン入力切替ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用している系統に戻します。再度初期化中を示すダイアログが表示されるので、このダイアログが消えるまでタッチパネルに触らず待っててください。

□パソコン入力切替ボタン（PC）

各ボタンを押すと、黄色に点灯します。

| ボタン名 | 機能 |
|------|-----------------------------|
| 1 | フロントパネルに接続されたパソコン系統に切り替えます。 |
| 2 | リアパネルに接続されたパソコン系統に切り替えます。 |

重要

リコータッチパネルドライバーがインストールされたパソコンが接続され、起動しているとき、パソコン系統を切り替えると、「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」というダイアログが表示されます。

このダイアログが表示されている間、本機の検出ユニットが動作確認と設定を行います。正常な場合、しばらくしてダイアログボックスが消えます。このとき、ダイアログが表示されている間は、タッチパネルに触らないでください。

誤って、触ってしまった場合は、「サービスマンコール」のダイアログが表示されます。この場合、フロントパネルのパソコン入力切替ボタンで使用していない系統のパソコンにいったん切り替え、次に使用している系統に戻します。再度初期化中を示すダイアログが表示されるので、このダイアログが消えるまでタッチパネルに触らず待っててください。

4 映像設定メニューの使い方

ここでは、操作用ワイヤレスリモコンを使って、映像を調整する方法を説明します。映像設定メニューは、リコータッチパネルドライバーに含まれている Windows アプリケーションです。このメニューは、本機に接続されたパソコンにリコータッチパネルドライバーがインストールされていて、正常に動作している場合に、操作することができます。

基本的な使い方

(例) 明るさを調整するとき

1. Windows が起動している状態で、操作用ワイヤレスリモコンのメニューボタンを押します。

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログが表示されます。



2. 操作用ワイヤレスリモコンの ボタンを押し、「2 ブライツ」を選択します。現在選択されているメニュー項目は、背景が黄色で表示されます。
3. 操作用ワイヤレスリモコンの確定ボタンを押します。ダイアログ下部にスライダーが表示されます。

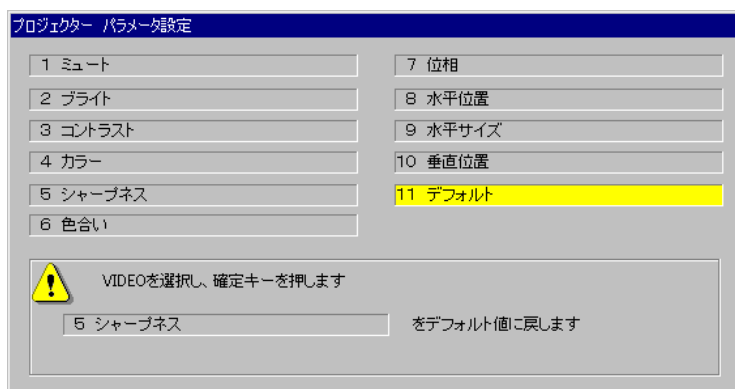


4. / ボタンを押して、明るさを調整します。

5. 確定ボタンを押して、調整した結果を記憶させます。
6. 確定しない場合は、メニューボタンを押してメニュー選択に戻ります。
7. メニューボタンを押し、[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログを閉じます。

工場出荷時の設定に戻す

1. 操作用ワイヤレスリモコンの確定ボタンを押します。
[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログが表示されます。
2. 操作用ワイヤレスリモコンの / ボタンを何回か押し、「11 デフォルト」を選択します。
3. 操作用ワイヤレスリモコンの / ボタンを何回か押し、デフォルトに戻す項目を選択します。



4. 確定ボタンを押して、結果を記憶させます。
5. メニューボタンを押し、[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログを閉じます。

ミュート

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「1 ミュート」を選択すると、スライダーが表示されます。

ボタンを押すと、音声が消えます（消音）。 ボタンを押すと、音声が聞こえます。

ブライト (明るくなる↔暗くなる)

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「2 ブライト」を選択すると、スライダーが表示されます。

/ ボタンを押して、画面全体の明るさを調整します。 ボタンを押すと明るくなり、ボタンを押すと暗くなります。

コントラスト (コントラストが弱くなる↔コントラストが強くなる)

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「3 コントラスト」を選択すると、スライダーが表示されます。

/ ボタンを押して、明暗のバランスが適切になるように調整します。 ボタンを押すとコントラストが強くなり、 ボタンを押すとコントラストが弱くなります。

カラー (色が淡くなる↔色が濃くなる)

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「4 カラー」を選択すると、スライダーが表示されます。

ボタンを押すと色が濃くなり、 ボタンを押すと色が淡くなります。ビデオ信号のみ有効です。

シャープネス (柔らかな画質になる↔くっきりした画質になる)

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「5 シャープネス」を選択すると、スライダーが表示されます。

ボタンを押すとくっきりとした画質になり、 ボタンを押すと柔らかな画質になります。ビデオ信号のみ有効です。

色合い (赤っぽくなる↔緑っぽくなる)

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「6 色合い」を選択すると、スライダーが表示されます。

ボタンを押すと緑みが強くなり、 ボタンを押すと赤みが強くなります。ビデオ信号のみ有効です。

位相 (チラツキをなくす)

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「7 位相」を選択すると、スライダーが表示されます。

/ ボタンを押して、チラツキがなくなるように調整します。RGB 信号のみ有効です。

水平位置（映像を左右に移動する）

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「8 水平位置」を選択すると、スライダバーが表示されます。

ボタンを押すと映像が右に移動し、 ボタンを押すと映像が左に移動します。RGB 信号のみ有効です。

水平サイズ（映像の水平サイズを調整する）

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「9 水平サイズ」を選択すると、スライダバーが表示されます。

ボタンを押すと映像の水平サイズが大きくなり、 ボタンを押すと映像の水平サイズが小さくなります。RGB 信号のみ有効です。

垂直位置（映像を上下に移動する）

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「10 垂直位置」を選択すると、スライダバーが表示されます。

ボタンを押すと映像が上に移動し、 ボタンを押すと映像が下に移動します。RGB 信号のみ有効です。

デフォルト（工場出荷時設定に戻す）

[プロジェクター パラメータの設定] ダイアログで「11. デフォルト」を選択すると、設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

重要

- ・ カラー、シャープネス、色合いは、VIDEO1 または VIDEO2 が選択されていないと変更できません。スライダバーが表示された後に、VIDEO1 または VIDEO2 に切り替えて、 / ボタンで調整、確定してください。スライダバーは表示されませんが、変更できます。そのまま VIDEO を使用する場合は、パソコンに戻す必要はありません。
- ・ カラー、シャープネス、色合いをデフォルトに戻す場合、VIDEO1 または VIDEO2 に切り替え、確定ボタンを押します。
- ・ 操作用ワイヤレスリモコンで、カラー、シャープネス、色合いを希望どおりに調整できない場合は、画像調整用ワイヤレスリモコンを使用してください。詳しくは、「 プロジェクタの映像調整」（P.87）を参照してください。

補 足

[パソコン映像の調整のしかた]

本機に接続されたパソコンの映像は、次の手順で適切に表示されるよう調整します。

1. 「10. 垂直位置」を選択し、映像の上端の位置を合わせます。
2. 「8. 水平位置」を選択し、映像の左端の位置を合わせます。
3. 「9. 水平サイズ」を選択し、映像の右端の位置を合わせます。
または、幅の広い縦のしま模様が消えるようにします。
4. 「7. 位相」を選択し、チラツキやぼやけをなくし、鮮明に見えるように調整します。

5 リコータッチパネルドライバーの使い方

リコータッチパネルドライバーについて

本機でタッチパネル機能を利用するには、本機に Windows パソコンを接続して、リコータッチパネルドライバーをインストールする必要があります。本機に付属しているリコータッチパネルドライバーは、Windows95/98 でのみ使用できます。

ここでは、本機と Windows パソコンを USB ケーブルで接続する場合と、RS-232C ケーブルで接続する場合のインストール方法を説明します。

インストール

□USBケーブルで接続する場合

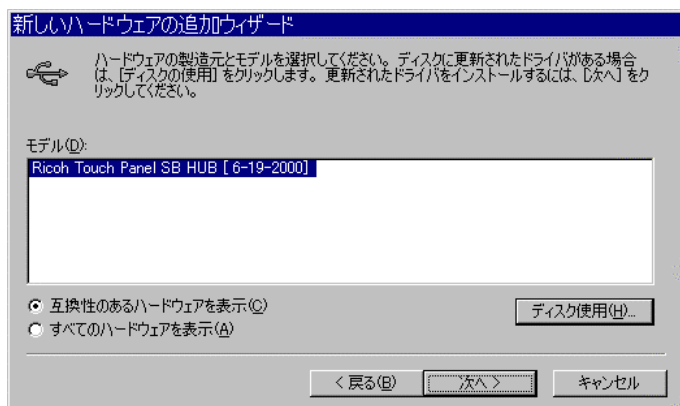
USB ケーブルを使用したインストールは、Windows98 でのみ対応しています。

1. USB ケーブルで本機とパソコンを接続すると、[新しいハードウェアの追加ウィザード] ダイアログが表示されます。
2. [次へ] ボタンを押します。
検索方法を選択するダイアログが表示されます。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバーの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」のラジオボタンを選択します。



4. [次へ] ボタンを押します。
新しいハードウェアが検出され、ドライバーのインストールを要求するダイアログが表示されます。

5. 「互換性のあるハードウェアを表示」チェックボックスを選択して、リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをセットします。
6. [ディスク使用] ボタンを押して、フロッピーディスクが選択されると、リコータッチパネルドライバーの型名が、モデル欄に表示されます。



7. [次へ] ボタンを押すと、インストールが開始されます。
8. リコータッチパネルドライバーのインストールが完了すると、次のデバイスが自動的に登録されます。
 - ・ Ricoh Touch Panel SB USB
 - ・ Ricoh Touch Panel USB
9. インストールが完了したら、正しくインストールされていることを確認します。コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] ダイアログの [デバイスマネージャ] タブを開きます。

10. [接続別に表示] ラジオボタンをチェックして、画面例のように、Ricoh Touch Panel と記述された 3 つのデバイスが表示されているかを確認してください。

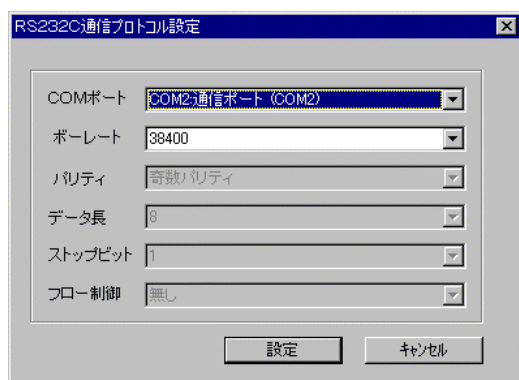


11. デバイスが確認できたら、引き続いて次項の通信プロトコル設定の手順 3 ~ 8 を行います。

□RS-232Cケーブルで接続する場合

USB ケーブルで接続している場合は、前項に引き続き、手順 3～8 を行います。

1. RS-232C ケーブルで本機とパソコンを接続します。
2. リコータッチパネルドライバーのフロッピーディスクをセットします。
3. フロッピーディスクの SETUP.EXE を起動します。
4. [次へ] ボタンを押します。
5. 本機との通信プロトコルを設定します。



[COM ポート]

RS-232C ケーブルのみを使用する場合は、接続しているポートを選択します。

USB のみを使用している場合は、設定は不要です。

USB と RS-232C を共有している場合は、RS-232C ケーブルを接続しているポートを選択します。

[ボーレート]

設定は不要です。38400 に固定です。

6. [設定] ボタンを押します。
7. [完了] ボタンを押します。
8. インストールが終わったら、パソコンを再起動してください。

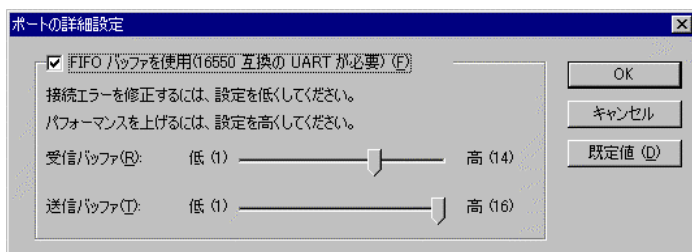
リコータッチパネルドライバーはコントロールパネルに登録されて、「RTD の設定」アイコンが表示されています。

重要

【RS-232C ケーブルでのみ接続している場合】

RS2323C ケーブルでのみ本機とパソコンを接続している場合、リコータッチパネルドライバーをインストールした後、「FIFO バッファを使用」の設定を確認してください。

1. コントロールパネル、システムを続けて選択して、[システムのプロパティ] ダイアログの [デバイスマネージャ] タブを選択します。
2. ポート (COM/LPT) をクリックして表示されたポートの中から、接続している通信ポートをクリックします。
3. [プロパティ] ボタンを押して、通信ポートのプロパティを表示します。
4. [ポートの設定] タブを選択して、[詳細設定] ボタンを押します。
[ポートの詳細設定] ダイアログが表示されます。



5. 「FIFO バッファを使用」のチェックボックスをオンにして、[既定値] ボタンを押します。
6. [OK] ボタンを続けて押して、コントロールパネルでの設定を終了します。

アンインストール

1. コントロールパネルの [アプリケーションの追加と削除] を起動します。
2. 「リコータッチパネルドライバー」を選択し、[追加と削除] ボタンを押します。
3. 後はメッセージの内容に従って操作してください。

再インストール

リコータッチパネルドライバーを再インストールする場合は、一度アンインストールしてから、インストール作業を行ってください。

開始と終了

1. [スタート] [コントロールパネル] を選択します。
2. リコータッチパネルドライバーのアイコンをダブルクリックします。
[利用者選択/設定] ダイアログが表示されます。



3. マルチディスプレイ機能を使用して接続された複数のメディアサイトがある場合、どのメディアサイトの設定を変更するか指定します。詳細は「 設定情報の管理」(P.46)をご覧ください。
3. 利用者ごとや使用目的ごとに設定情報を登録、また登録した設定情報を選択します。設定情報は、オプションボタンで [1] ~ [65] まで登録、選択することができます。詳細は「 設定情報の管理」(P.46)をご覧ください。
4. 操作用ワイヤレスリモコンのキーを設定する場合は、[リモコンキー設定] ボタンを押します。詳細は「 リモコンキー設定」(P.48)をご覧ください。
 タッチパネル等のハードウェアの設定を行ったり、情報を表示したりする場合は、[初期設定] ボタンを押します。詳細は「 初期設定」(P.58)をご覧ください。
 ここで、設定した内容は、操作 3 で選択したオプションボタンごとに記録されます。
5. 設定を保存して終了する場合は、[OK] ボタンを押します。
 変更した設定を破棄する場合は、[キャンセル] ボタンを押します。
 [利用者選択/設定] ダイアログが閉じます。

補 足

[リモコンキー設定]、[初期設定]、[削除] ボタンは、オプションボタンを選択していないと押すことができません。例えば、オプションボタン「1」を選択している状態で、[次] ボタンを押すと [6] ~ [10] の項目が表示されます。このとき各ボタンは押すことができない無効の状態になっています。各ボタンを使用するためには、[6] ~ [10] のいずれかのオプションボタンを選択します。

設定情報の管理

画面の選択

複数のメディアサイトがマルチディスプレイ機能を使用して接続されている場合、どのメディアサイトの設定を変更するか、オプションボタンで指定します。

画面 1~3 はメディアサイトのアドレスを示し、操作用ワイヤレスリモコンで接続されたメディアサイトのアドレスを変更できます。アドレスの変更については、「操作用ワイヤレスリモコンでの操作方法」(P.68)を参照してください。

1. [利用者選択/設定] ダイアログを表示させます。
2. [画面選択] の画面 1~3 のオプションボタンを選択します。
3. 各画面(メディアサイト)でユーザの登録を行う場合は、次項へ進んでください。
4. [OK] ボタンを押して、[利用者選択/設定] ダイアログを閉じます。

ユーザ(設定情報)の登録

利用者ごとや使用目的ごとに設定情報をあらかじめ登録しておくことができます。後述する各種設定項目で設定した情報を一つの設定セットとして、利用者や設定者の名前、その設定での使用目的などを、識別するために入力します。

設定情報は、[1] ~ [65] まで登録することができます。

1. [利用者選択/設定] ダイアログを表示させます。
2. リモコンキー設定や初期設定など各種設定を行います。
3. 登録されていない空欄のいずれかのオプションボタンを選択します。
空欄が表示されない場合は、[前へ] [次へ] ボタンで探します。
4. 利用者や設定者の名前、その設定での使用目的などを入力します。
5. [OK] ボタンを押して、[利用者選択/設定] ダイアログを閉じます。

ユーザ（設定情報）の切り替え

利用者ごとや使用目的ごとに登録した設定情報（情報セット）を切り替えます。

1. [利用者選択/設定] ダイアログを表示させます。
2. [1] ~ [65] までのいずれかのオプションボタンを選択します。
3. 登録情報が表示されない場合、[前へ] [次へ] ボタンで探します。
4. [OK] ボタンを押して、[利用者選択/設定] ダイアログを閉じます。

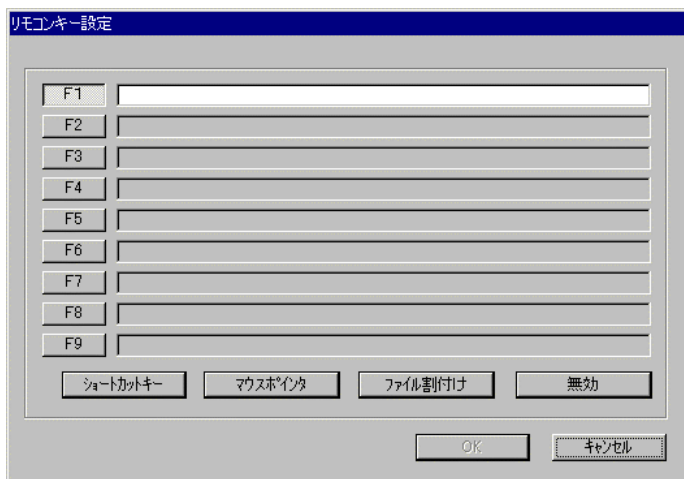
ユーザ（設定情報）の削除

以前に使用した設定セット(利用者ごとや使用目的ごとに登録した設定情報)が不要になった場合は、設定セットを削除できます。

1. [利用者選択/設定] ダイアログを表示させます。
2. [1] ~ [65] までのいずれかのオプションボタンを選択し、[削除] ボタンを押します。
ダイアログの選択したオプションボタンに対応するテキストだけでなく、その設定が消去されるのでご注意ください。
3. [OK] ボタンを押して、[利用者選択/設定] ダイアログを閉じます。

リモコンキー設定

[利用者選択/設定] ダイアログで [リモコンキー設定] ボタンを押すと、[リモコンキー設定] ダイアログが表示されます。



操作用ワイヤレスリモコンのFボタン（F1～F9）には、キー操作、マウス操作、プログラムの起動やデータ/文書の閲覧等の機能を利用者が独自に割り当てることができます。

操作用ワイヤレスリモコンのFボタンにキー操作を自動で割り当てる場合

1. [リモコンキー設定] ダイアログで [F1]～[F9] のボタンを選択し、[ショートカットキー] ボタンを押します。
[ショートカットキー入力] ダイアログが表示されます。



2. [機能説明] にどのような操作をするのかを説明した文章を入力し、[自動] ボタンを押します。
ダイアログが、画面左下でタイトルバーだけの状態になり、画面右下に [開始] [登録] [キャンセル] というボタンのついたバーが表示されます。
3. [開始] ボタンを押します。

4. 一連のキーを操作します。この機能で記録されるのはキー操作だけである点にご注意ください。
詳細は「例：現在のメモ帳の内容を印刷する場合」をご覧ください。
5. [登録] ボタンを押します。
6. [OK] ボタンを押してすべてのダイアログを閉じます。

補 足

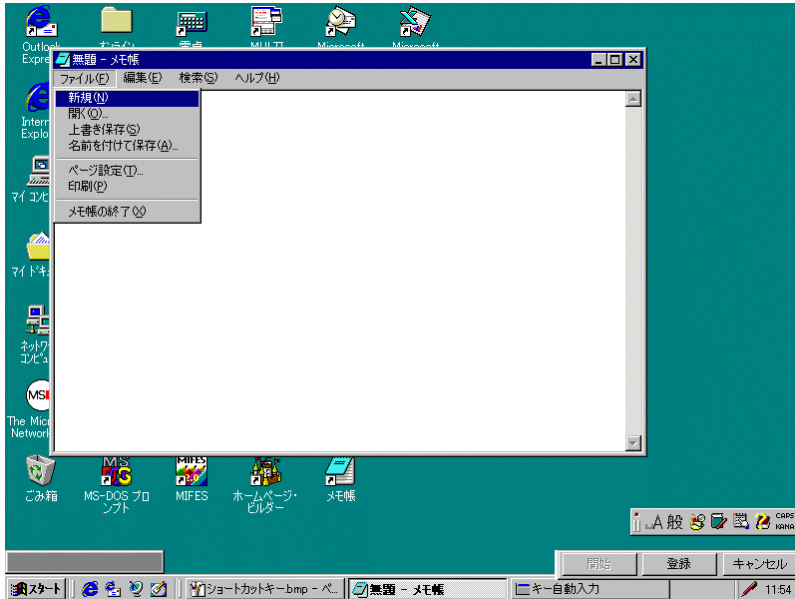
キーイベントは、キーの押し下げ (DOWN) とキーの戻り (キーを離れた/UP) を 1 つのイベントとして制御します。矢印キーのように押し続けてカーソル等を移動するような操作は記録できません。1 つ 1 つのキーを確実に押して、離して操作してください。

例：現在のメモ帳の内容を印刷する機能を操作用ワイヤレスリモコンの F2 に割り当てる場合

1. あらかじめ「メモ帳」を起動し、印刷したい内容を入力しておきます。
2. [リモコンキー設定] ダイアログで [F2] ボタンを選択し、[ショートカットキー] ボタンを押します。
[ショートカットキー入力] ダイアログで機能説明として「メモ帳印刷」と入力します。
3. [自動] ボタンを押し、画面右下のバーで [開始] ボタンを押します。
4. 「メモ帳」をアクティブにし、必ずキーボードで次のようにキーを押します。

<Alt>キーを押したまま<F>キーを押す <P>キーを押す。

このときメモ帳では押したキーの意味に合わせてコマンドが実行 (つまり [ファイル] メニューが表示され、[印刷] コマンドが実行) されます。



5. [登録] ボタンを押します。キー操作を間違えてしまった場合は、[キャンセル] ボタンを押してください。
[ショートカットキー入力] ダイアログの [ショートカットキー] には、押したキーの記号表記が自動的に入力されています。
6. [OK] ボタンを押してすべてのダイアログを閉じます。

割り当てた機能が正しく動作するかどうかを検査する

実際に運用する前に割り当てた機能が正しく動作するかどうかを検査してください。

1. あらかじめ「メモ帳」を起動し、印刷したい内容を入力しておきます。
このときページ設定で、プリンタ名や種別、場所等が正しく設定されていることを確認してください。
2. 「メモ帳」をアクティブにします。
3. 操作用ワイヤレスリモコンの F2 ボタンを押します。
正しく設定されていれば、現在のメモ帳に入力してある文章が印刷されます。

操作ワイヤレスリモコンの F ボタンにキー操作を手作業で割り当てる場合（上級者向け）

⚠ 注意

間違って入力すると、致命的な結果を招く可能性がありますので、十分に理解された上でご利用ください。基本的には、[自動]で記録した内容の小規模な修正にご利用になることをお勧めします。

1. [リモコンキー設定]ダイアログで[F1]～[F9]のボタンを選択し、[ショートカットキー]ボタンを押します。
[ショートカットキー入力]ダイアログが表示されます。
2. [ショートカットキー]に操作するキーに対応するキーの記号表記を入力します。

時間, (キーイベント), [時間, (キーイベント), 時間, (キーイベント), ...]

[]内はオプション（最大 128 回まで）

時間は、0～65535 秒まで（単位は秒）

キーイベントで、<Alt>キー、<Shift>キー、<Ctrl>キーを他のキーと組み合わせて使用する（押したままにする）場合は、次のように 2 つのキーを半角のプラス記号（+）で連結します。

例： Alt + F
 Ctrl + V

実際のキーに対応する記号表記に関しては、次ページの表をご覧ください。

3. [機能説明]にどのような操作をするのかを説明した文章を入力します。
4. [OK] ボタンを押してすべてのダイアログを閉じます。

| パソコンのキー | 入力文字列 | パソコンのキー | 入力文字列 | パソコンのキー | 入力文字列 |
|-------------|--------|---------|-------|-------------------|-----------|
| 1 | 1 | A | A | Backspace(BS) | Backspace |
| 2 | 2 | B | B | 英数 | 英数 |
| 3 | 3 | C | C | ; | ; |
| 4 | 4 | D | D | : | : |
| 5 | 5 | E | E |] |] |
| 6 | 6 | F | F | CapsLock | CapsLock |
| 7 | 7 | G | G | Shift | Shift |
| 8 | 8 | H | H | < | < |
| 9 | 9 | I | I | > | > |
| 0 | 0 | J | J | / | / |
| Esc(Escape) | Esc | K | K | _ | _ |
| F1 | F1 | L | L | Ctrl | Ctrl |
| F2 | F2 | M | M | WIN | WIN |
| F3 | F3 | N | N | Alt | Alt |
| F4 | F4 | O | O | 無変換 | 無変換 |
| F5 | F5 | P | P | スペース | SPACE |
| F6 | F6 | Q | Q | 前候補 | 前候補 |
| F7 | F7 | R | R | ひらがな | ひらがな |
| F8 | F8 | S | S | APPS | APPS |
| F9 | F9 | T | T | | UP |
| F10 | F10 | U | U | | DOWN |
| F11 | F11 | V | V | | LEFT |
| F12 | F12 | W | W | | RIGHT |
| Insert(Ins) | Insert | X | X | ScrLK(ScrollLock) | ScrLK |
| Delete(Del) | Delete | Y | Y | Pause | Pause |
| 全角 | 全角 | Z | Z | Break | Break |
| - | - | Tab | Tab | PageUp(PgUp) | PageUp |
| ^ | ^ | Enter | Enter | PageDown(PgDn) | PageDown |
| ¥ | ¥ | @ | @ | Home | Home |
| End | End | [| [| | |

| テンキーのキー | 入力文字列 | テンキーのキー | 入力文字列 |
|---------|--------|---------|--------|
| 1 | 1 (全角) | / | / (全角) |
| 2 | 2 (全角) | * | * (全角) |
| 3 | 3 (全角) | - | - (全角) |
| 4 | 4 (全角) | + | + (全角) |
| 5 | 5 (全角) | ・ | ・ (全角) |
| 6 | 6 (全角) | | |
| 7 | 7 (全角) | | |
| 8 | 8 (全角) | | |
| 9 | 9 (全角) | | |
| 0 | 0 (全角) | | |

重 要

直接入力される場合、前述の表内の文字列を入力してください。表内にない文字列を入力した場合、登録されません。

例：感嘆符 (!) を登録したい場合

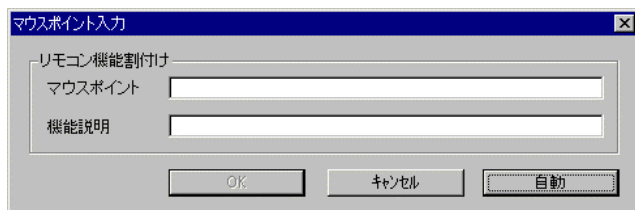
0,(!) とシフトキーやコントロールキー等で修飾された文字列を入力するのではなく

0,(shift+1) キーを押したそのままの状態を記述してください。

操作用ワイヤレスリモコンの F ボタンにマウス操作を自動で割り当てる場合

操作用のリモコンの F ボタンにマウス操作を割り当てることができます。しかしマウス操作を割り当てる場合、注意しなければならないのは、マウス操作は画面の座標を記録しているため、マウス操作を記録した時点とリモコンで再現する時点でまったく同じ位置に同じものが表示されている必要があります。ウィンドウの位置が頻繁に変るアプリケーション等の複雑な操作には向きません。パワーポイントのページ送り等に使用します。

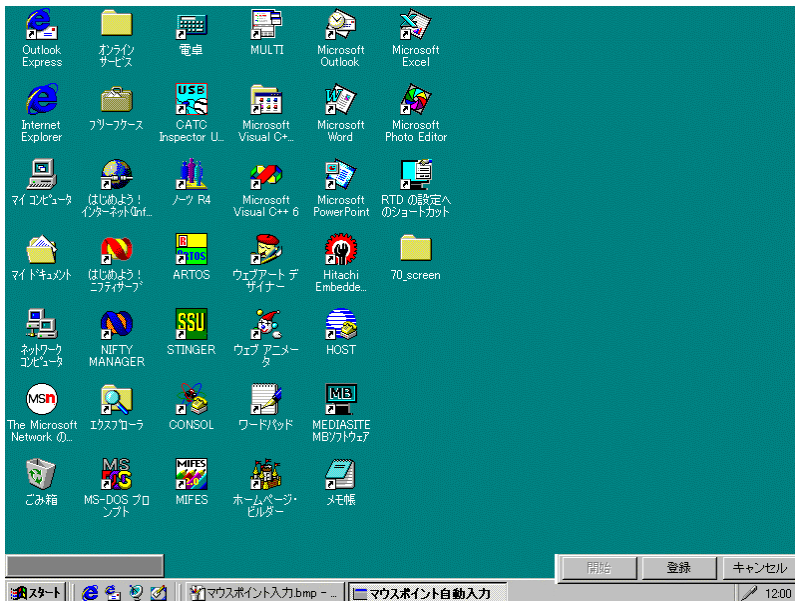
1. [リモコンキー設定] ダイアログで [F1] ~ [F9] のボタンを選択し、[マウスポイント] ボタンを押します。
[マウスポイント入力] ダイアログが表示されます。



2. [機能説明] にどのような操作をするのかを説明した文章を入力し、[自動] ボタンを押します。
ダイアログが、画面左下でタイトルバーだけの状態になり、画面右下に [開始] [登録] [キャンセル] というボタンのついたバーが表示されます。
3. [開始] ボタンを押します。
4. 一連のマウス操作を行います。この機能で記録されるのはマウス操作だけである点にご注意ください。
詳細は「例：デスクトップの MB ソフトを起動する場合」をご覧ください。
5. [登録] ボタンを押します。
6. [OK] ボタンを押してすべてのダイアログを閉じます。

例：デスクトップの MB ソフトを起動する場合

1. あらかじめデスクトップに MB ソフト（ショートカットアイコンでも可能）が配置されていることを確認しておきます。
2. [リモコンキー設定] ダイアログで [F3] ボタンを選択し、[マウスポインタ] ボタンを押します。
[マウスポイント入力] ダイアログで機能説明として「MB ソフト起動」と入力します。
3. [自動] ボタンを押し、画面右下のバーで [開始] ボタンを押します。
4. 必ずマウス（またはマウスと完全互換のポインティングデバイス）でデスクトップの MB ソフトアイコンをダブルクリックします。
実際に MB ソフトが起動します。



5. [登録] ボタンを押します。操作を間違えてしまった場合は、[キャンセル] ボタンを押してください。
[マウスポイント入力] ダイアログの [マウスポイント] には、操作したマウスの記号表記が自動的に入力されています。
6. [OK] ボタンを押してすべてのダイアログを閉じます。

割り当てた機能が正しく動作するかどうかを検査する

実際に運用する前に割り当てた機能が正しく動作するかどうかを検査してください。

1. あらかじめデスクトップに MB ソフト（ショートカットアイコンでも可能）が配置されていることを確認しておきます。
2. MB ソフトのアイコンが他の要素に隠されていないことを確認します。
3. 操作用ワイヤレスリモコンの F3 ボタンを押します。
正しく設定されていれば、MB ソフトが起動します。

操作用ワイヤレスリモコンの F ボタンにマウス操作を手作業で割り当てる場合（上級者向け）

⚠ 注意

間違って入力すると、致命的な結果を招く可能性がありますので、十分に理解された上でご利用ください。基本的には、[自動]で記録した内容の小規模な修正にご利用になることをお勧めします。

1. [リモコンキー設定] ダイアログで [F1] ~ [F9] のボタンを選択し、[マウスポイント] ボタンを押します。
[マウスポイント入力] ダイアログが表示されます。
2. [マウスポイント] に操作するキーに対応するキーの記号表記を入力します。

時間, イベント, (X,Y)[, 時間, イベント, (X,Y), 時間, イベント, (X,Y), ...]

[]内はオプション（最大 64 回まで）

時間は、0 ~ 65535 秒まで（単位は秒）

イベントは次のとおり。

- 1 (マウスの左ボタンをクリック)
- 2 (マウスの左ボタンをダブルクリック)
- 3 (マウスの右ボタンをクリック)
- 4 (マウスの右ボタンをダブルクリック)

X (画面の X 座標 (横) -32768 ~ 32767 まで)

使用するパソコンにの設定によっては、(マルチディスプレイ使用)
原点が負の値になっています。

モニタ 1 台のときは、(0, 0)です。

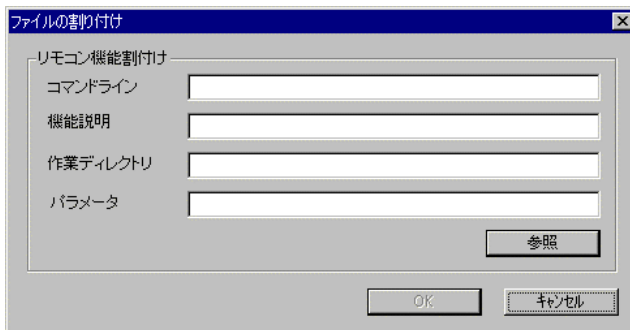
Y (画面の Y 座標 (縦) -32768 ~ 32767 まで)

3. [機能説明] にどのような操作をするのかを説明した文章を入力します。
4. [OK] ボタンを押してすべてのダイアログを閉じます。

操作用ワイヤレスリモコンの F ボタンにファイル操作を割り当てる場合

操作用ワイヤレスリモコンの F ボタンにプログラムの起動やデータ/文書の閲覧等を割り当てることができます。

1. [リモコンキー設定] ダイアログで [F1] ~ [F9] のボタンを選択し、[ファイル割り付け] ボタンを押します。
[ファイル割り付け] ダイアログが表示されます。



2. [参照] ボタンを押します。
[ファイルを開く] ダイアログが表示されます。
3. 任意のプログラムファイル (拡張子.EXE 等) かデータファイルを選択します。
データファイルは、ダブルクリックするとそのデータファイルが開かれるもの (拡張子が Windows に登録されているもの) のみ選択できます。
4. [開く] ボタンを押します。
[ファイルを開く] ダイアログが閉じます。
5. [ファイル割り付け] ダイアログの [機能説明] にどのような操作をするのかを説明した文章を入力します。

6. [作業ディレクトリ]と[パラメータ]は、使用するアプリケーションに応じて適切に設定してください。

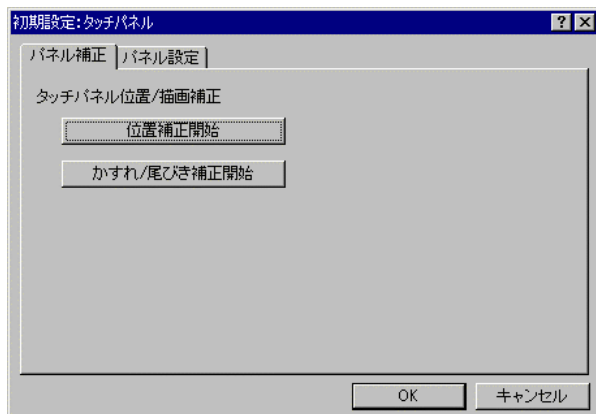
操作用ワイヤレスリモコンの F ボタンに割り当てた機能を無効にするには

操作用ワイヤレスリモコンの F ボタンに割り当てた機能を無効にできます。ただし、無効にすると、登録された内容は削除されてしまいます。有効にするには、再度削除した内容を登録しなおす必要があります。

1. [リモコンキー設定]ダイアログで [F1] ~ [F9] のボタンを選択し、[無効] ボタンを押します。

初期設定

[利用者選択/設定] ダイアログで [初期設定] ボタンを押すと、[初期設定：タッチパネル] ダイアログが表示されます。



タッチパネルの位置補正やダブルクリックの有効範囲などのハードウェア関連の設定をしたり、情報を表示したりできます。

[パネル補正] タブ

指などで画面を押したときの位置を補正したり、指が画面に触れていると判断する距離を適正化（かすれ/尾びき補正）したりできます。

[位置補正開始]

実際に指などで画面を押したときの位置を補正します。

1. [位置補正開始] ボタンを押します。
全画面で位置補正画面が表示されます。
2. 指などで画面に表示される点を約 1 秒間押し続け、アイコンが変化したら指などを離します。この操作を 3 回（左上、右下、右上の順番に）繰り返します（この 3 点を「補正点」と呼びます）。



3. 確認メッセージに対して [OK] ボタンを押します。
[位置補正登録] タイアログが表示されます。



4. 補正したデータを登録する場合は、名前を付けて [OK] ボタンを押します。

[かすれ/尾びき補正開始]

指が画面に触れていると判断する距離を適正化します。

1. [かすれ/尾びき補正開始] ボタンを押します。
[タッチパネル描画補正] ダイアログが表示され、テスト描画のためのウィンドウが表示されます。



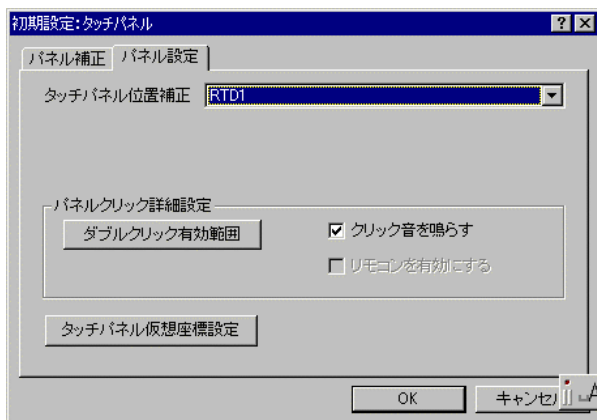
2. スライダーを左右に動かしてから、画面をなぞるように一連の自由曲線を描いてみます。



線を描いているつもりなのにとこどころかすれていたり、指などを離れたつもりなのに余分な線が検出されたりということがなくなるように、スライダーを調整します。[画面クリア] ボタンを押すとテスト描画のためのウィンドウが白紙の状態に戻ります。

3. [OK] ボタンを押します。

[パネル設定] タブ



[タッチパネル位置補正]

[パネル補正] タブの [位置補正開始] で登録した補正データを選択できます。 ボタンを押して、登録名を選択します。

[パネルクリック詳細設定] [クリック音を鳴らす]

画面に触れたときに音を鳴らすことができます。 [クリック音を鳴らす] ボックスをチェックすると画面に触れたときに音が鳴ります。 チェックを外すと音は鳴りません。

[パネルクリック詳細設定] [リモコンを有効にする]

複数のメディアサイトがマルチディスプレイ機能を使用して接続されている場合に限り、このチェックボックスを設定できます。

[リモコンを有効にする] ボックスをチェックすると、操作用ワイヤレスリモコンのマルチディスプレイ部のキーが有効になり、チェックを外すと無効になります。

[パネルクリック詳細設定] [ダブルクリック有効範囲]

ダブルクリックしたとき、つまり指などで画面を 2 回続けて押したときに、どの程度まで 1 回目と 2 回目で位置がずれても許容するかを設定できます。

1. [ダブルクリック有効範囲] ボタンを押します。
[ダブルクリックの設定] ダイアログが表示されます。



2. ダイアログに表示される内容に従って白くボックス内をダブルクリックし（指などで画面を2回続けて押し）てください。
3. [登録] ボタンを押します。

[タッチパネル仮想座標設定]

複数のメディアサイトを接続している場合に、各メディアサイトの関係を設定します。1台のみで使用している場合は、設定は不要です。

1. [タッチパネル仮想座標設定] ボタンを押します。
メディアサイトのいずれかの画面に全画面でメッセージが表示されます。
2. メッセージが表示されているメディアサイトの前に移動し、画面に触れます。
10秒以内に画面に触れないと、次のメディアサイトに移動します（システムが1台の時は移動しません）。
3. [OK] ボタンを押します。[キャンセル] ボタンを押すと対象メディアサイトの設定を中止し、次のメディアサイトの設定を行います。
4. 設置しているメディアサイトの数だけ2~3の操作を繰り返します。

マルチディスプレイの表示位置の詳細については、「6 マルチディスプレイ」（P.66）をご覧ください。

管理者情報の表示

[管理情報] タブ

タッチパネルやスイッチボードなどのハードウェアの情報が表示されます。基本的にはサービスマン用です。



[RS-232C 通信プロトコル設定]

パソコン側の RS-232C 通信プロトコルで使用するポートやボーレートを表示できます。USB を使用している場合は、意味がありません。

1. [RS-232C 通信プロトコル設定] ボタンを押すと、[RS-232C 通信プロトコル設定] ダイアログが表示されます。
2. 設定は変更しないでください。



[情報]

[情報] ボタンを押すと、タッチパネルとスイッチボードの情報が表示されます。

Information dialog box with the following content:

| タッチパネル | |
|--------|------|
| 機種名 | 70X |
| バージョン | 1R00 |
| シリアル番号 | .. |
| 動作状態 | 正常 |

| スイッチボード | |
|---------|------|
| 機種名 | SB01 |
| バージョン | 1.00 |
| シリアル番号 | .. |
| 動作状態 | 正常 |

開じる

[SC 連絡先]

[SC 連絡先] ボタンを押すと、サービス実施店の担当者と連絡先が表示されます。

Service contact information dialog box with the following content:

| | |
|------|--------------|
| 会社名 | RICOH |
| 担当者 | リコー太郎 |
| 電話番号 | 0123-456-789 |

登録 キャンセル

[自己診断] タブ

タッチパネルやスイッチボードなどのハードウェアを診断します。

Self-diagnosis dialog box with the following content:

利用者選択/設定

一般設定 | 管理情報 | 自己診断 | SCログ

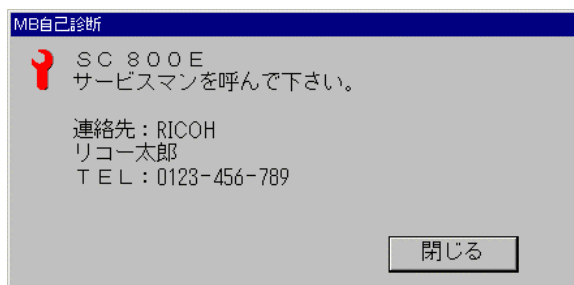
診断する箇所を選択してください

- メモリー診断
- LD-L診断
- LD-R診断
- 読み取り範囲-L診断
- 読み取り範囲-R診断
- 白波形診断
- スイッチボード診断

診断を開始

OK キャンセル

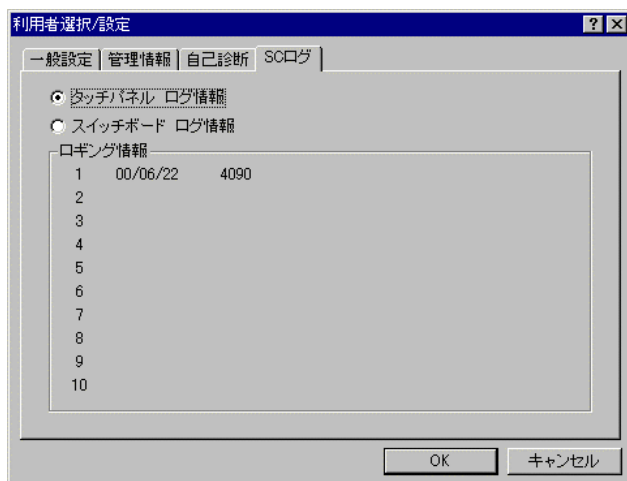
1. 診断項目を選択し、[診断開始] ボタンを押します。
診断中は、画面に触れないでください。
2. 異常がある場合は、エラーコードとメッセージが表示されます。
メッセージ内容に従ってください。



3. [閉じる] ボタンを押します。

[SC ログ] タブ

ハードウェアやソフトウェアの履歴情報が表示されます。基本的にはサービスマン用です。



6 マルチディスプレイ

複数のメディアサイトを接続できます。USB 接続時のみ複数（最大 3 台まで）のメディアサイトを 1 台の外部パソコン（Windows 98）に接続して制御できます。ビデオカードと USB ハブが必要です。

作業の前にパソコンとビデオカードがマルチディスプレイに対応しているかどうか確認してください。パソコンの機種によっては、Windows 98 を使用してもマルチディスプレイで使用できないもの、BIOS のアップデートが必要なもの、BIOS の設定の変更が必要なものがあります。

STEP1 ハードウェアの接続

STEP2 ビデオカードの確認

STEP3 タッチパネルの調整

STEP1 ハードウェアの接続

1. パソコンにビデオカードを装着します（詳細はビデオカードのマニュアルをご覧ください）。

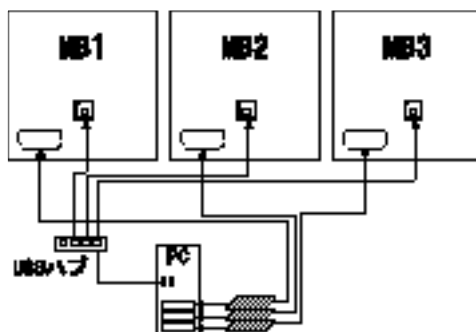
接続するメディアサイト数のビデオカードを用意します。

2. ビデオカードのディスプレイコネクタとメディアサイトの PC1 (PC2) RGB コネクタを接続します。

接続するメディアサイト数（ビデオカードの数）だけ作業を繰り返します。

3. パソコンと USB ハブのアップストリームを USB ケーブルで接続します。
4. USB ハブのダウンストリームとメディアサイトを USB ケーブルで接続します。

接続するメディアサイト数だけ作業を繰り返します。



STEP2 ビデオカードの確認

すべてのケーブル等の接続を確認後、メディアサイトの電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。

起動中に「新しいハードウェア用にインストールするドライバを選択して下さい。」というダイアログが表示されます。必要なビデオカード用のドライバをインストールし、ドライバのインストールが終了したら、Windows を再起動します。Windows の起動中にプライマリでないディスプレイに次のメッセージが表示されます。

「このメッセージが表示されると、ディスプレイアダプタが正しく初期化されたことを表します。このアダプタを Windows デスクトップの一部として使用するにはコントロールパネルの [ディスプレイ] をクリックし、[設定] タブで設定してください。」
Windows が起動したら、次のように設定します。



[画面のプロパティ] の [設定] タブでディスプレイの絵が接続したメディアサイト数 (ビデオカードの数) だけ並んでいれば、Windows 98 からビデオカードが正しく認識されています。ディスプレイの絵を右クリックして [有効] にしてください。また、下の [Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする] をチェックしてください。

STEP3 タッチパネルの調整

1. コントロールパネルのリコータッチパネルドライバのアイコンをダブルクリックします。適切な設定セットを選択し、[初期設定] ボタンを押し [パネル設定] タブで [タッチパネル仮想座標設定] ボタンを押します。
プライマリディスプレイ (画面のプロパティに 1 番と表示されたディスプレイ) に全画面でメッセージが表示されます。
2. メッセージが表示されているメディアサイトの前に移動し、画面に触れます。
10 秒以内に画面に触れないと、そのメディアサイト (タッチパネル) は接続されていないものと判断されます。
3. [OK] ボタンを押します。
4. 設置しているメディアサイトの数だけ 2~3 の操作を繰り返します。

マルチディスプレイの設定後、最初の画面をタッチすると、「仮想座標指定」が始まります。表示されているメッセージに従って操作してください。設定方法は「タッチパネル仮想座標設定」(P. 62) をご覧ください。

操作用ワイヤレスリモコンでの操作方法

複数のメディアサイトを接続した直後は、操作用ワイヤレスリモコンで操作できるよう有効に設定されています。このとき、操作用ワイヤレスリモコンのキーを押すと、複数のメディアサイトが同時に反応してしまうことがあります。使用状況に応じて、接続した複数のメディアサイトが同時に反応しないよう、1台を有効に他を無効にすることができます。

また、各メディアサイトに画面 1、画面 2 というアドレスを割り当てることができます。このアドレスによって、操作用ワイヤレスリモコンで目的のメディアサイトを操作できます。このアドレスは、変更することもできます。

⚠ 注意

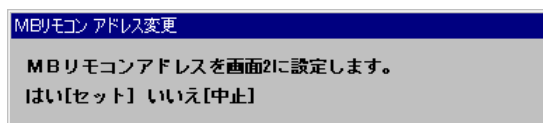
マルチディスプレイ部は、マルチディスプレイで表示できるようパソコンと本機が接続されていて、パソコンの Windows のコントロールパネルでマルチディスプレイが有効に設定されているときのみ、操作できます。

| ボタン名 | 機能 |
|---------|--|
| MB1 ~ 3 | 接続されたメディアサイトに設定された、画面 1 (MB1)、画面 2 (MB2)、画面 3 (MB3) のアドレスを選択します。 |
| アドレス | 対象のメディアサイトのアドレス、有効/無効を表示します。 |
| 有効 | リモコンを有効にします。 |
| 無効 | リモコンを無効にします。 |
| 中止 | キャンセルします。 |
| セット | 切り替えた内容に設定します。 |

□アドレスを設定する

ここでは、画面 2 のアドレスを設定します。

1. MB2 ボタン セットボタンと続けて押します。
スクリーンには、[MB リモコン アドレス変更] ダイアログが表示されます。

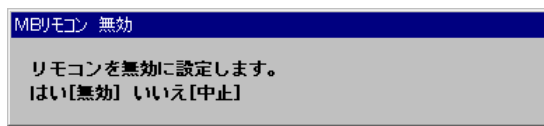


2. セットボタンを押します。
設定を変更しない場合は、中止ボタンを押します。

□リモコン操作を無効にする

ここでは、画面 1 に設定されたメディアサイトでのリモコン操作を無効にします。

1. MB1 ボタン 無効ボタンと続けて押します。
スクリーンには、[MB リモコン 無効] ダイアログが表示されます。



2. 無効ボタンを押します。
設定を変更しない場合は、中止ボタンを押します。

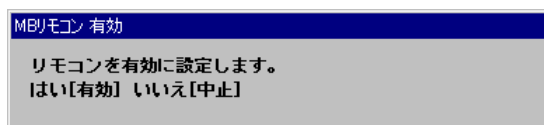
補 足

無効に設定すると、マルチディスプレイ部以外のキーが動作しなくなります。

□リモコン操作を有効にする

ここでは、無効に設定された画面 1 を有効にします。

1. MB1 ボタン 有効ボタンと続けて押します。
スクリーンには、[MB リモコン 有効] ダイアログが表示されます。

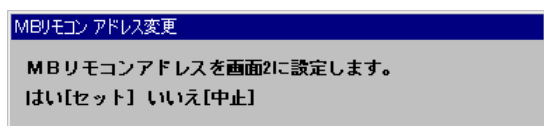


2. 有効ボタンを押します。
設定を変更しない場合は、中止ボタンを押します。

□アドレスを変更する

ここでは、画面 1 のアドレスを画面 2 に変更します。

1. 画面 1 のアドレスに設定されたメディアサイトの前で、MB2 ボタン セットボタンと続けて押します。
スクリーンには、[MB リモコン アドレス変更] ダイアログが表示されます。



2. セットボタンを押します。
設定を変更しない場合は、中止ボタンを押します。

7 使用上の注意

本機の電源の入/切について

本機の電源は、本機に電源を供給する「主電源スイッチ」と、その電源のスタンバイ/ONを切り替えるフロントパネルの「ON STBY ボタン (POWER)」で、電源の入/切を操作します。

例えば、朝の始業時に主電源スイッチを入れておいて、日中の作業で本機を使用する場合にフロントパネルの ON STBY ボタンで電源を入/切にします。そして、終業時に主電源スイッチを切るというように使用します。

本機の電源の入/切については、「3 使用方法」の電源の入/切に関する説明に従って、操作してください。これらの手順に従わないで、電源の入/切をすると、光源ランプの寿命を著しく縮めることとなります。

パソコンの電源について

本機にパソコンが接続されていて、主電源や電源を切る場合は、次の手順で行います。この作業を行わないと、パソコンの故障またはデータ破壊の原因になることがあります。

1. パソコンの電源を切ります。
Windows パソコンが接続されている場合、必ず Windows の終了を行い、「コンピュータの電源を切る準備ができました」が表示されていること、またはパソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してください。
また、Macintosh パソコンが接続されていて、システムが起動している場合も、必ずシステムを終了し、パソコンのパワーランプなどで電源が切られていることを確認してください。
2. フロントパネルの ON STBY ボタン (POWER) を押します。
ON STBY ボタンが赤色に点灯、そして PROJECTOR の ON インジケーターが黄色に点滅し、表示部のランプが消えます。
約 1 分後ファンが止まり、PROJECTOR の ON インジケーターが黄色の点灯となります。
3. ランプを冷やすために 1 分程度待ってから、主電源スイッチを切にします。
フロントパネルの ON STBY ボタンと ON インジケーターが消灯します。

電源タップの電源容量について

本機収納部内の電源タップに機器を追加して接続される場合は、総容量 700W 以下でお使いください。レーザープリンタなど大型の周辺機器を接続する場合は、機器の消費電力を確認してください。

タッチパネルについて

- ・タッチパネルは、強くたたくと割れたりしてけがの原因となることがあります。タッチパネル表面に汚れ、異物が付着すると、誤動作の原因となることがあります。汚れ、異物が付着した場合は、付属の布または柔らかい布で拭き取ってご使用ください。
- ・指以外で使用する場合は、必ず付属の専用ペンを使用してください。硬いものを使用するとタッチパネル表面を傷つけてしまいます。

キーボードテーブルの積載重量について

キーボードテーブルにキーボード以外の機器を載せる場合、その重量が 3kg 以内であることを確認してください。3kg 以上の機器や物を載せた場合、テーブルが破損する恐れがあります。また、手や足も載せないでください。

8 異常時の処置

警告

煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなど異常状態のまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。このようなときはすぐに機器本体の主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。

9 修理を依頼する前に

修理を依頼される前に、お客様に調べていただきたい内容を以下にまとめています。以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止してください。故障状態のままご使用になると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の主電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、サービス実施店にご連絡ください。

現象による状態チェックと処置

| このようなときは... | ここをお調べください | 処置 |
|-------------|--|--|
| 画面に何も映らない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 主電源スイッチは入っていますか？ b. ON インジケーターが消えていますか？ c. 電源タップに、正常に電気が供給されていますか？ d. 電源タップの電源コードが正しく接続されていますか？ e. 電源ランプが消灯していませんか？ f. RGB 入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルが正しく接続されていますか？ g. 接続されている機器が正しく作動していますか？ h. 適正な信号ケーブルが接続されていますか？ i. 接続されている入力信号を正しく選択していますか？ j. 内部の温度が高すぎませんか？ (TEMP インジケーターが赤く点灯、または点滅していませんか？) k. 光源ランプが切れていませんか？ (LAMP インジケーターが赤く点灯していませんか？) l. 電源を切ってからすぐに電源を入れましたか？(ON インジケーターが緑に点滅していますか？) m. 明るさの調整が、暗い側いっぱいに設定されていませんか？ n. 外部機器の入力切り替えが正しく設定されていますか？ o. 映像設定メニューの OPT.メニューで、COM.SPEED および COM.BIT が、正しく設定されていますか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 主電源スイッチを入れてください。 b. 主電源スイッチを入れてください。 c. 別の機器で確認してください。 d. 電源コードを正しく接続してください。 e. 電源コードを正しく接続してください。主電源スイッチを入れてください。 f. RGB 入力コネクタおよびビデオ信号入力コネクタに信号ケーブルを正しく接続してください。 g. 接続されている機器を正しく作動させてください。 h. 適正な信号ケーブルを接続してください。 i. 接続されている入力信号を選択してください。 j. 30 分以上本機を放置冷却した後、電源を入れなおしてください。再び、同一現象が現れる場合は、サービス実施店にご相談ください。 k. 主電源スイッチを切って 20 分以上放置した後、再度主電源スイッチを入れてください。再び、同一現象が現れる場合は、サービス実施店にご相談ください。 l. 故障ではありません。映像が映るまで数分かります。しばらくお待ちください。 m. 画像調整用ワイヤレスリモコンで、明るさを調整してください。 n. 操作用ワイヤレスリモコンまたはフロントパネルで、入力する外部機器を正しく設定してください。 o. 画像調整用ワイヤレスリモコンで、工場出荷時の設定に戻してください。 |

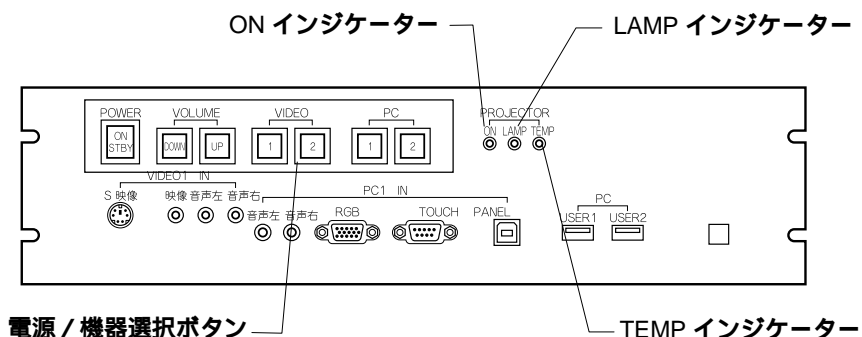
| このようなときは... | ここをお調べください | 処 置 |
|-----------------------------|---|---|
| ワイヤレスリモコンが操作できない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 電池が正しくセットされていますか？ b. 電池が消耗していませんか？ c. 本機のリモコン受光部にリモコン発光部を正しく向けていますか？ d. マルチディスプレイ使用時に、操作対象のメディアサイトで、アドレスを無効に設定していませんか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 電池を正しくセットしてください。 b. 新しい電池と交換してください。 c. 本機のリモコン受光部にリモコン発光部を正しく向けて操作してください。 d. 操作用ワイヤレスリモコンで、無効にしているメディアサイトのアドレスを有効にしてください。 |
| 映像が暗い！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 明るさ、コントラストを正しく調整していますか？ b. 光源ランプの寿命が近くありませんか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 操作用ワイヤレスリモコンで、明るさを調整してください。 b. サービス実施店に依頼して、光源ランプを交換してください。 |
| 映像がぼやける！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 位相が合っていない可能性があります。 | <ul style="list-style-type: none"> a. 操作用ワイヤレスリモコンで、位相を調整してください。 |
| 映像に赤、青、黄などの光る点が見える！ | 本機の方式特有のもので、故障ではありません。 | |
| 色がうすい、色合いが悪い！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 色の濃さ、色合いを正しく調整していますか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 操作用ワイヤレスリモコンで、色の濃さ、色合いを調整してください。 |
| 映像が乱れ、音声に雑音が入る！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 外部機器との接続ケーブルが端子に正しく接続されていますか？ b. 他の機器の近くに設置しているために他の機器からの妨害電波を受けていませんか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 接続プラグを端子の奥までしっかりと接続してください。 b. 本機を他の機器から離してください。 |
| 音が出ない！ | <ul style="list-style-type: none"> a. 音量が小さくなりすぎていませんか？ b. 映像設定メニューで、「1 ミュート」が OFF に選択されていませんか？ c. 画像調整用ワイヤレスリモコンのミュートボタンを「オン」にしていますか？ d. 外部機器との接続ケーブルが端子に正しく接続されていますか？ | <ul style="list-style-type: none"> a. 音量を調整してください。 b. 映像設定メニューで、「1 ミュート」が ON に選択してください。 c. 画像調整用ワイヤレスリモコンのミュートボタンを「オフ」にしてください。 d. 正しく接続してください。 |
| 映像がぼやけて残る！ | 同一の静止画像を長時間ご覧になられた場合、画面を切り換えてもまれに静止画像がぼやけて残ることがありますが、これは故障ではありません。画像残りは、数日間放置しておくとも自然に出なくなります。 | |
| ON STBY ボタンが赤く、間隔が短く点滅している！ | フロントパネル制御ユニットが故障です。 | 電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| タッチパネルで操作できない！ | タッチパネルを制御するシステムの故障が考えられます。 | 電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。 |

| このようなときは... | ここをお調べください | 処 置 |
|--|---|---|
| タッチパネルが認識しない! | <ul style="list-style-type: none"> a. 指がタッチパネルに触れていると判断する距離が正しく設定されていますか? b. タッチパネルを指で操作するとき、指の側面を使用したり、指とスクリーンの角度が狭かったり、手や服の袖などがスクリーンに近づきすぎていませんか? c. スクリーンに太陽や照明など強い光があたっていませんか? d. 接続しているパソコンにリコータッチパネルドライバーがインストールされていますか? また、リコータッチパネルドライバーが正しく動作していますか? e. スクリーンに異物が貼付されていませんか? f. ご使用のRS-232C ケーブルは適正な信号ケーブルですか? | <ul style="list-style-type: none"> a. リコータッチパネルドライバーで、かすれ/尾びき補正を行ってください (P.60)。 b. タッチパネルを指で操作する場合は、指の腹をスクリーンに押し当てるようにして、指とスクリーンの角度をできるだけ直角に広げます。そのとき、手や服の袖などがスクリーンから十分離れるようにしてください。 c. 太陽や照明など強い光が、本機にあたらぬよう移動または設置してください。 d. 本機でタッチパネルの機能を使用する場合は、リコータッチパネルドライバーが必要です。 パソコンを接続して、または接続しているパソコンにリコータッチパネルドライバーをインストールしてください。 e. スクリーンに貼付された異物を取り除いてください。 f. RS-232C ケーブルは、適正な信号ケーブル (ストレートケーブル) を使用してください。 |
| 光源ランプを交換する英語メッセージが表示された! | 光源ランプを交換する時期にきています (P.81)。 | 光源ランプの交換は、サービス実施店にご相談ください。 |
| サービスマンに修理を依頼するメッセージ (サービスマンコール) が表示された! | <ul style="list-style-type: none"> a. 「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」メッセージが表示中に、タッチパネルを触りましたか? b. タッチパネルを制御するシステムの故障が考えられます。 | <ul style="list-style-type: none"> a. パソコンを再起動してください。 b. 電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| 「初期化中です。ディスプレイに触らないでください。」メッセージが表示された! | パソコンシステムを切り替える、またはどちらかのビデオシステムを 10 分以上使用した状態でパソコンシステムに切り替えると、このメッセージが表示されます。本機特有のもので、故障ではありません。 このメッセージが消えるまで、お待ちください。 | |
| 額縁と本体の間に物が落ちて、取れない! | 電源プラグを抜き、サービス実施店にご相談ください。 | |

インジケーターによる状態チェック

本機のフロントパネルには、表示部の状態を知らせるインジケーターが3つあります。インジケーターの光り方によって、本機の状態や異常を知ることができます。

また、電源の入/切、接続されているパソコンやAV機器の選択状況を、点灯しているボタンによって確認できます。



ON インジケーター

主電源スイッチおよびフロントパネルの ON STBY ボタンで、入/切を行ったときの状態を知らせます。

| インジケーター表示 | 状態 |
|-----------|------------|
| 黄色の点灯 | スタンバイ状態 |
| 緑色の点滅 | ウォームアップ中 |
| 緑色の点灯 | 動作可能な状態 |
| 黄色の点滅 | クールダウン中 |
| 赤色の点灯 | 警告または異常な状態 |

ON インジケーターが赤色で点灯している場合は、LAMP インジケーターまたは TEMP インジケーターで異常が知らされています。

LAMP インジケータ

ランプカバーおよびフィルターの取り付けが不良であったり、光源ランプの消耗や寿命などで光源ランプが点灯しないとき、LAMP インジケータが赤く点灯します。

また光源ランプは、点灯の累積時間が 2,000 時間を超えると自動的にランプが消灯します。新しい光源ランプと取り替えてください。光源ランプの交換は、サービス実施店にご連絡ください。

補 足

本機は、光源ランプを交換する目安として、電源投入時にスクリーンにメッセージを表示します。メッセージとメッセージに対する処置については、「10 お手入れ」の「光源ランプの交換」(P.81)を参照してください。

TEMP インジケータ

内部温度の異常、冷却ファンの停止を知らせます。通気環境が不良で内部温度が高くなると赤く点灯し、冷却ファンが停止すると赤く点滅します。

ON STBY ボタン (POWER)

ON STBY ボタンは、次のように点灯し、状態を知らせます。

- ・電源が入るとき： 緑色の点灯
- ・スタンバイ状態のとき： 赤色の点灯
- ・異常時のとき： 赤色の間隔の短い点滅

スタンバイ状態のとき、電源タップは切です (通電されていません)。

機器選択ボタン

ビデオ入力切替ボタン、パソコン入力切替ボタンは、選択されているシステムのいずれか一つが黄色で点灯します。

本機の状態と処置

以下の表に、インジケータの表示に対する、本機の状態と対処方法を説明します。
 処置を行う場合は、主電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、作業してください。
 それでも異常がある場合は、サービス実施店にご相談ください。

| | 表示 | 状態 | 処置 |
|----------------|------|---|---|
| ON インジケータ | 黄色点灯 | スタンバイ状態です。 | |
| | 緑色点滅 | 正常です。光源ランプのウォームアップ状態です。 | |
| | 緑色点灯 | 正常です。 | |
| | 黄色点滅 | クールダウン中です。 | |
| | 赤色点灯 | LAMP インジケータ、TEMP インジケータと同様に、以下の異常が発生すると点灯します。 | 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| LAMP インジケータ | 赤色点灯 | ランプが点灯していません。 | しばらく(約20分)時間をおいて、再度電源を入れてください。 |
| TEMP インジケータ | 赤色点滅 | 冷却ファンが故障していて、ファンが止まっています。 | 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 |
| | 赤色点灯 | 内部の温度が高くなっています。次の原因が考えられます。 a. 通気口をふさいでいる。 b. 暖房の吹出し口などの高温な場所で使用している。 c. 光源部エアフィルターが汚れている。 | a. ふさいでいる物を取り除きます。 b. 設置場所を変更します。 c. 電源プラグをコンセントから抜き、サービス実施店にご相談ください。 |

メッセージによる状態表示と処置

本機の状態によって、以下のメッセージがスクリーンに表示されます。

プロジェクタの状態を示すメッセージ

| メッセージ | 状態 | 処置 |
|----------------------|----------------------------------|--|
| NO INPUT IS DETECTED | 信号が入力されていません。 | ケーブルの接続を確認してください。 表示する系統選択と一致していることを確認してください。 |
| SYNC IS OUT RANGE | 現在の入力信号の水平または垂直周波数は、本機では対応できません。 | パソコンの RGB 出力信号の設定を変更してください。 |
| CHECK THE AIR FLOW | 内部の冷却が不十分です。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |

フロントパネル、タッチパネル機能の状態を示すメッセージ

以下のメッセージは、リコータッチパネルドライバーを使用している場合に限り表示されます。

□フロントパネル制御部

| メッセージ | 状態 | 処置 |
|---------|---------------------------------|-----------------------------|
| SC 8001 | 電子回路のエラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 8002 | | |
| SC 8003 | | |
| SC 8004 | | |
| SC 8005 | | |
| SC 8006 | | |
| SC 8007 | 本機とパソコン間の通信エラーです。 | 本機とパソコン間で、ケーブルの接続を確認してください。 |
| SC 8008 | | |
| SC 8009 | リコータッチパネルセンサーとフロントパネル間の通信エラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 800A | プロジェクタとフロントパネル間の通信エラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 800B | | |
| SC 800C | | |
| SC 800D | 電子回路のエラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 800E | | |
| SC 800F | | |
| SC 8010 | | |
| SC 8011 | | |
| SC 8012 | | |
| SC 8013 | | |
| SC 8014 | リコータッチパネルセンサーが動作していません。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |

□リコータッチパネルセンサー部

| メッセージ | 状態 | 処置 |
|---------|--|---|
| SC 40XX | 電子回路のエラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 4080 | リコータッチパネルセンサーの発光部のエラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 4081 | | |
| SC 4084 | リコータッチパネルセンサーの受光部のエラーです。 | サービス実施店にお問い合わせください。 |
| SC 4085 | | |
| SC 4090 | | |
| SC 4091 | スクリーンに異物が貼付されている、また初期化中に手が触れたときに発生する、タッチ範囲エラーです。 | フロントパネルのパソコン入力切替ボタンでパソコンを切り替えてください。メッセージが再度表示される場合は、サービス実施店にお問い合わせください。 |

□リコータッチパネルドライバー部

| メッセージ | 状態 | 処置 |
|---------|-------------------------|---|
| SC-D0XX | フロントパネルとパソコン間での通信エラーです。 | ケーブルの接続を確認してください。RS-232C ケーブルで接続している場合は、適切な通信速度に設定してください。 |

10 お手入れ

⚠ 注意

お手入れをする前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

外装のお手入れ

- ・ 柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・ 汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってから、汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- ・ 本機背面のフィルターについたほこりは、1～2ヶ月に一度掃除機で吸い取ってください。

内部の掃除

- ・ タッチスクリーン内部の掃除は、サービス実施店にご依頼ください。
- ・ 掃除を行うと、機器本体の火災・故障を防ぎます。
- ・ 内部掃除の費用については、サービス実施店におたずねください。

光源ランプの交換

光源ランプの交換は、サービス実施店にご依頼ください。

本機には、スクリーンに映像を投影するために光源ランプが内蔵されています。光源ランプは点灯した時間に応じて消耗して、寿命となります（故障ではありません）。通常のランプ同様に長時間使用すると光源ランプも消耗し、輝度の低下や色あいが不鮮明となり、性能低下の原因となります。光源ランプが消耗したときは、新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプの交換の目安として、本機では電源投入時にスクリーンに次ページのメッセージが表示されます。メッセージが表示されたときは、光源ランプを交換してください。使用環境によっては多少異なりますが、光源ランプは2,000時間使用すると寿命となります。そのままご使用になると、故障の原因にもなります。また、寿命を超えて使用した場合、まれに光源ランプが破損します。

[表示されるメッセージ]

| メッセージ | 内容と対処方法 |
|--|--|
| CHANGE THE LAMP "CALL A MAINTENANCE PERSON" | 光源ランプの累積点灯時間が 1,900 時間以上経過。ランプの寿命です。新しいランプと取り替えてください。2,000 時間になると、光源ランプが自動消灯します。このメッセージは 3 分経過すると消えますが、再度電源を投入すると表示されます。 |
| "CHANGE THE LAMP" "CALL A MAINTENANCE PERSON" "THE POWER WILL TURN OFF AFTER * Hr" | 光源ランプの累積点灯時間が 1,980 時間以上経過。あと * 時間でランプが消灯します。早急に新しい光源ランプと取り替えてください。 * は、光源ランプの自動消灯までの残り時間を示します。このメッセージは 3 分経過すると消えますが、再度電源を投入すると表示されます。 |
| 上記メッセージの点滅 | 光源ランプの累積点灯時間が 2,000 時間以上経過。点滅開始から、約 10 分で自動的に光源ランプが消灯します。早急に新しい光源ランプと取り替えてください。 |

11 アフターサービスについて

保証書は、必ず『販売店・サービス実施店』など所定事項の記入をお確かめください。保証書記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

本機には、サービス用の部品が同梱されております。保証書とともに保管してください。

操作方法や機器のトラブルのお問い合わせ、または消耗品などのご注文や、機器の移転などのご用命は、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

本機の光源ランプには寿命があり、寿命は故障ではありません。光源ランプが約 1900 時間点灯すると、消耗して寿命となるメッセージがスクリーンに表示されます。このメッセージが表示された場合は、すみやかにサービス実施店に交換をご依頼ください。

日本国外へ移動したときは、保守サービスは負いかねますので、ご了承ください。

保証期間終了後の修理については、サービス実施店または、販売店にご連絡ください。

12 仕様

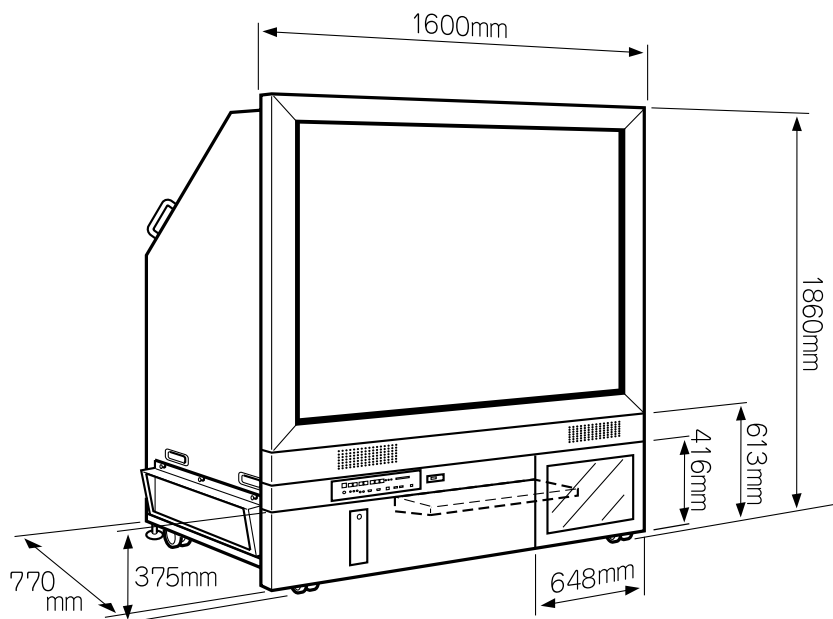
製品仕様

| | | | | |
|----------------|---------------------------|--|---|--|
| 商品名 | | MB2-70X | | |
| 表示装置 | スクリーンサイズ | 対角：1,768mm（70型） | | |
| | 有効表示サイズ | 1,414mm×1,061mm | | |
| | アスペクト比 | 4：3 | | |
| | 表示画素数 | 1,024×768ドット（XGA） | | |
| | 表示色数 | 1,677万色 | | |
| | 視野角 | 水平：160°、垂直：80° | | |
| | 輝度 | 450cd/m ² | | |
| 映像 | 入力 | RGB信号（PC） | 2系統（PC 1、2） 前部：ミニ D-SUB15P 後部：ミニ D-SUB15P | |
| | | VIDEO信号 | 2系統（VIDEO 1、2） 前部：RCAピンジャック/Sビデオ（Sビデオ優先自動切替） 後部：RCAピンジャック/Sビデオ（Sビデオ優先自動切替） | |
| | 出力 | RGB信号 | 1系統 後部：ミニ D-SUB15P（VIDEO信号系は出力されません） | |
| 音声 | ライン入力 RGB信号 VIDEO信号 | 4系統 前部RGB：RCAピンジャック（ステレオ）（PC1） 前部VIDEO：RCAピンジャック（ステレオ）（VIDEO1） 後部RGB：RCAピンジャック（ステレオ）（PC2） 後部ビデオ音声：RCAピンジャック（ステレオ）（VIDEO2） | | |
| | 出力 | 2系統（選択された映像系統に連動） 内部スピーカー：10W+10W ラインアウト：RCAピンジャック（ステレオ） | | |
| タッチ入力装置 | 方式 | | 光薄膜遮断検知方式 | |
| | 入力方法 | | 指または付属ペン | |
| | Touch resolution | | 1.38mm/ポイント | |
| | 信号インターフェイス | タッチ信号 | 2系統 前部：USB Bタイプ/シリアル D-SUB9P（USB優先、PC1） 後部：USB Bタイプ/シリアル D-SUB9P（USB優先、PC2） | |
| | | USB信号用ハブ | 選択したPC系統に連動したUSBハブ機能 前部 コネクタ：Aタイプ ×2 | |
| | 制御ソフトウェア | | リコータッチパネルドライバー（RTD）for Windows95/98（同梱） | |
| 全般 | 外形寸法 | W：1,600mm D：770mm H：1,860mm （キーボードテーブル含まず） | | |
| | 収納部寸法 | 上段 | W：490mm D：550mm H：190mm | |
| | | 下段 | W：490mm D：550mm H：175mm | |
| | キーボードテーブル | 仕切り棚板は+/-52mm・104mmの位置可変、取り外し可 上面寸法：幅590mm、行き260mm、床からの高さ375mm 耐荷重3kg 取り付け/取り外し可 | | |
| | 温湿度条件 | 温度5～35 湿度20～80%（但し結露しないこと） | | |
| | 電源電圧 | 100V（50/60Hz） | | |
| | 消費電力 | 約230W | | |
| 質量 | 約185kg | | | |
| 主な添付品（フトウエア除く） | | タッチペン（1本）、操作用ワイヤレスリモコン、画像調整用ワイヤレスリモコン、保証書、使用説明書、変換アダプタ（3-2P）、各種ケーブル（CRTケーブル、シリアルI/Fケーブル、パソコン用オーディオケーブル、キーボードケーブル：各1）、収納部棚板、棚板用フックピン、ストッパー金具、清掃用布、スパナ、サービス用調整ピン | | |

上記の仕様は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

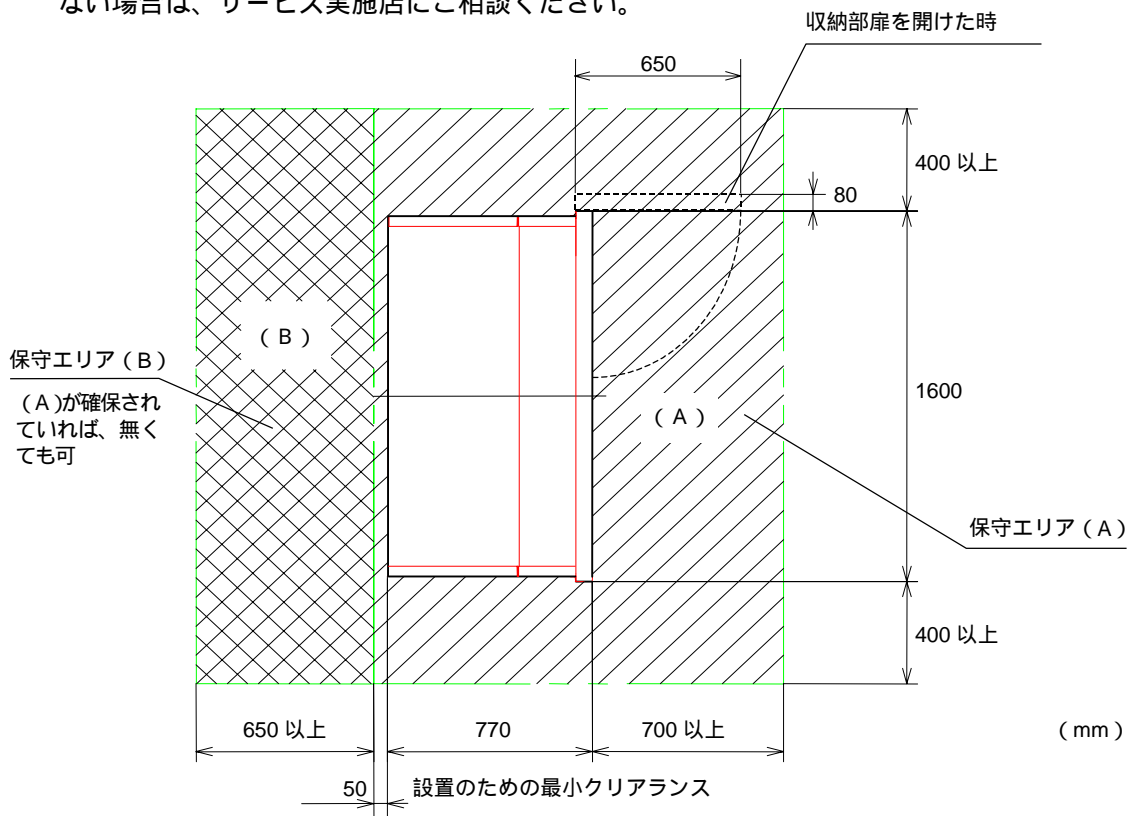
*この仕様表に掲載されている商品名、会社名は各社の商標および登録商標です。

外形寸法図

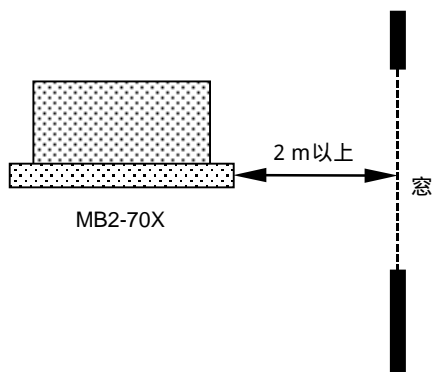


設置スペース

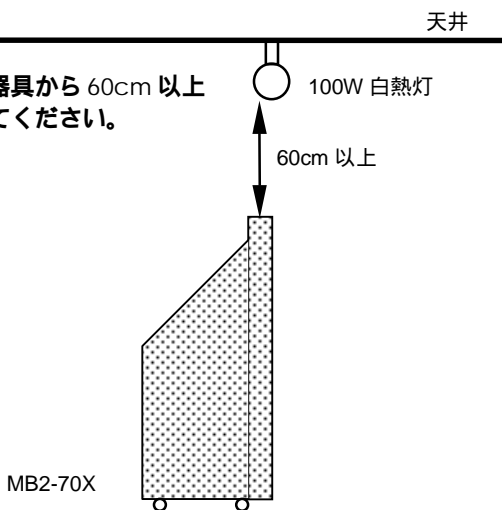
サービスマンがメンテナンス（特に故障時）の作業に必要な場所を確保してください。このエリア内に設置する物品などは、移動可能な物にしてください。保守エリアを確保できない場合は、サービス実施店にご相談ください。



窓から 2m 以上離してください。



照明器具から 60cm 以上離してください。



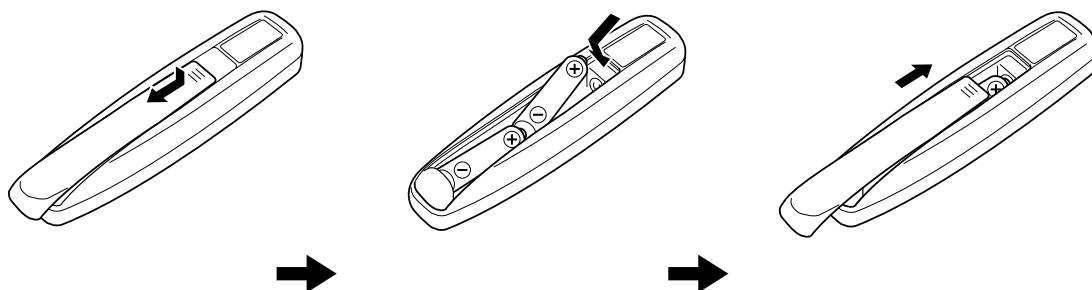
プロジェクトの映像調整

本機にパソコンを接続しないで、ビデオなど AV 機器を接続して使用する場合、スクリーンの映像を調整するには、画像調整用ワイヤレスリモコンを使用します。この場合、本機に搭載されたプロジェクトのメニュー画面で調整を行います。

画像調整用ワイヤレスリモコンの電池の入れ方

付属の単 3 形乾電池を 2 個入れます。

電池を交換する場合も、以下の手順を参考に作業します。



1. 電池ふたのつまみを押しながら、矢印の方向に引いて、開けます。
2. 電池の + / - の向きを、表示のとおりに正しく入れます。
3. 電池ふたを、矢印の方向に押し閉めます。

⚠ 注意

< 電池の使用上のご注意 >

- ・ 指定以外の電池は使用しないでください。また、複数個の電池を使用する場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ・ 電池をワイヤレスリモコン内に挿入する場合は、+ と - の向きに注意し、ワイヤレスリモコンの表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

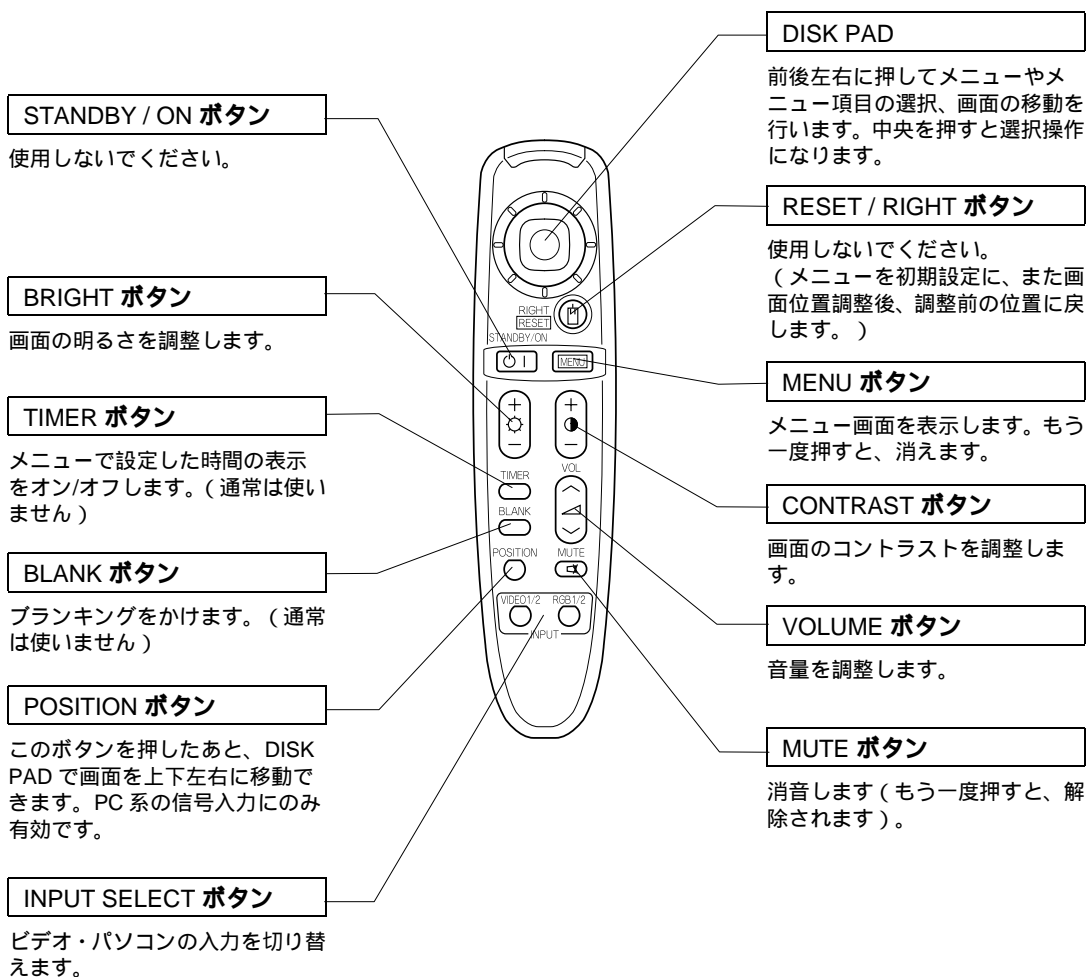
画像調整用ワイヤレスリモコンの外観とボタンの意味

⚠注意

本リモコンの STANDBY/ON ボタンは操作しないでください。このボタンを押すと、収納部の電源タップの AC 電源が切の状態になります。このとき電源タップにパソコンが接続されていると、パソコンの故障またはデータ破損の原因となることがあります。

重要

画像調整用ワイヤレスリモコンは、スクリーン部に向けて操作してください。



基本的な使い方

映像の調整は、画像調整用ワイヤレスリモコンで以下の手順に従って操作します。調整したメニュー画面の項目は、各入力端子ごとに記録され、電源を切っても入力端子の状態に合わせ前に設定した調整が再現されます。

1. 画像調整用ワイヤレスリモコンの MENU ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
5～10 秒何も操作しないとメニュー画面は自動的に消えます。
2. 画像調整用ワイヤレスリモコンの DISK PAD ボタンで調整したいメニュー項目を選択します。
現在選択されているメニュー項目は、緑色で表示されています。
3. 画像調整用ワイヤレスリモコンの DISK PAD ボタンで調整したい調整項目を選択します。
現在選択されている調整項目は、緑色で表示されています。

初期設定に戻す

重要

本機のプロジェクトは、工場出荷時に、最適な映像が表示されるようメニュー画面の各設定項目の値が設定されています。この設定は、プロジェクト自身にあらかじめ設定された初期設定値に戻すことは可能ですが、お勧めできません。

特に、IMAGE および OPT.メニューは初期設定に戻さないでください。本操作を行った場合は、必ず次に記載された各メニュー項目の工場出荷時の設定に戻してください。

IMAGE メニュー

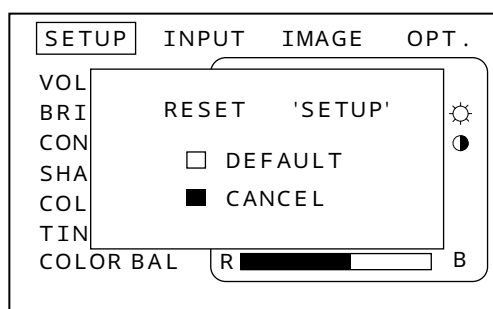
- ・ MIRROR (H:INVERT に設定してください)

OPT.メニュー

- ・ COM.SPEED (9600 に設定してください)
- ・ COM.BIT (8N1 に設定してください)

1. 画像調整用ワイヤレスリモコンの MENU ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
2. 画像調整用ワイヤレスリモコンの DISKPAD ボタンで、初期設定に戻したいメニュー項目を選択します。

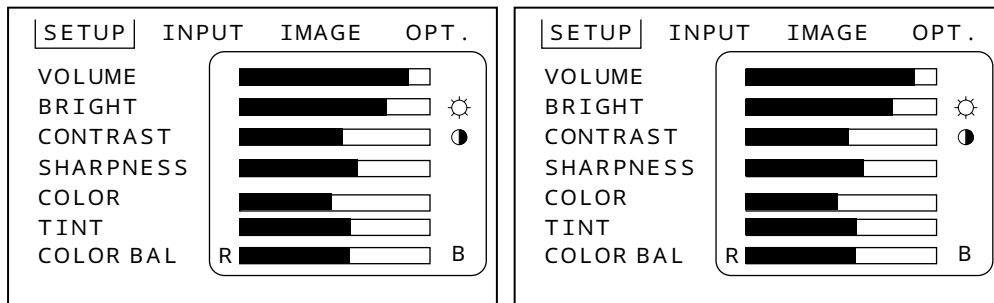
または、初期設定に戻したい調整項目を選択します。
3. RESET ボタンを押します。



4. DEFAULT を選択します。

SETUP メニュー

SETUP メニューでは、映像の調整や映像の表示位置等の調整ができます。



- ・RGB 信号の場合、TINT、COLOR、SHARPNESS の調整はありません。
- ・ビデオ信号の場合、V POSIT、H POSIT、H PHASE、H SIZE の調整はありません。

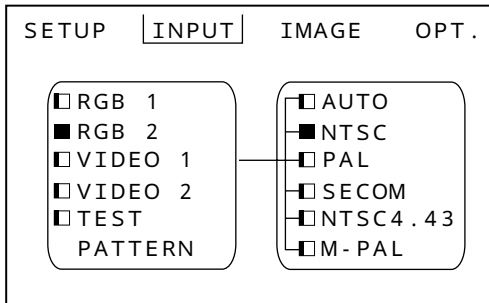
| 調整項目 | 調整内容 | 工場出荷時設定 |
|-----------|---|----------|
| VOLUME | 音量が小さくなる (0) ↔ 音量が大きくなる (36) | 18 |
| BRIGHT | (全体的に) 暗くなる (0) ↔ (全体的に) 明るくなる (36) | 18 |
| CONTRAST | コントラストが弱くなる (0) ↔ コントラストが強くなる (明暗がはっきりする) (36) | 18 |
| SHARPNESS | 柔らかな画質になる (0) ↔ くっきりとした画質になる (36) | 18 |
| COLOR | 色が淡くなる (0) ↔ 色が濃くなる (36) | 18 |
| TINT | 赤みが強くなる (0) ↔ 緑みが強くなる (36) | 18 |
| V POSIT | 映像を上下に移動する | 各モードの初期値 |
| H POSIT | 映像を左右に移動する | 各モードの初期値 |
| H PHASE | チラツキがなくなるよう調整する | 最適値 |
| H SIZE | 映像の水平サイズを調整する | 各モードの初期値 |
| COLOR BAL | 赤みが強くなる (0) ↔ 青みが強くなる (36) | 18 |

重要

- ・初期画面 (NO INPUT IS DETECTED または SYNC IS OUT OF RANGE) が表示されている間は、設定できません。
- ・PAL 方式、SECAM 方式のビデオ信号の場合、TINT は調整できません。

INPUT メニュー

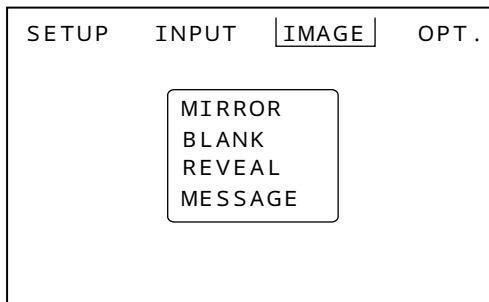
INPUT メニューでは、入力信号を選択できます。

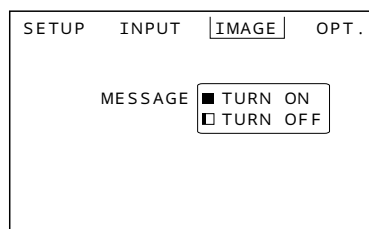
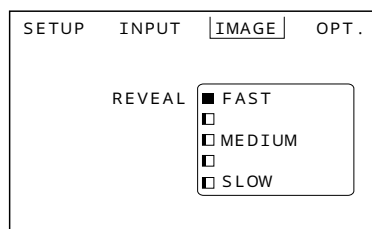
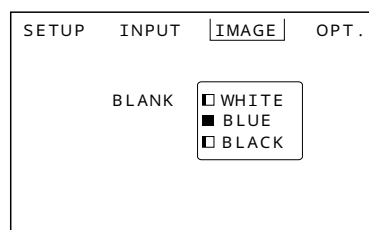
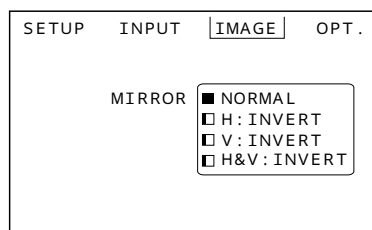


| 調整項目 | 調整内容 | 工場出荷時設定 |
|--------------|--|----------|
| RGB 1 | RGB1 入力端子の信号を選択します。 | |
| RGB 2 | RGB2 入力端子の信号を選択します。 | RGB2 が選択 |
| VIDEO 1 | VIDEO1 入力端子の信号を選択します。AUTO、NTSC、PAL、SECOM、NTSC4.43、M-PAL のサブメニューから選択できます。通常は AUTO です。 | AUTO が選択 |
| VIDEO 2 | VIDEO2 入力端子の信号を選択します。AUTO、NTSC、PAL、SECOM、NTSC4.43、M-PAL のサブメニューから選択できます。通常は AUTO です。 | AUTO が選択 |
| TEST PATTERN | 入力端子を選択するのではなく、初期画面（テストパターン）を画面に表示します。 | |

IMAGE メニュー

IMAGE メニューでは、映像などの各種設定を行います。





| 調整項目 | 調整内容 | 工場出荷時設定 |
|---------|--|----------|
| MIRROR | 映像の左右反転、上下反転を選択します。サブメニューで H:INVERT (左右反転)、V:INVERT (上下反転)、H&V:INVERT (上下左右反転) から選択できます。 | H:INVERT |
| BLANK | BLANK ON 時と無信号時にブランキングする色を選択します。サブメニューで WHITE (白)、BLUE (青)、BLACK (黒) から選択できます。無信号時には約 5 分でブランキング状態になります。 | WHITE |
| REVEAL | ブランキングする速さを選択します。サブメニューで FAST (最速) から SLOW (最遅) まで 5 段階から選択できます。 | MEDIUM |
| MESSAGE | メッセージ (FOCUS、VOLUME、INPUT モード) の表示・非表示を選択します。サブメニューで TURN ON (表示する) と TURN OFF (表示しない) を選択できます。 | TURN OFF |

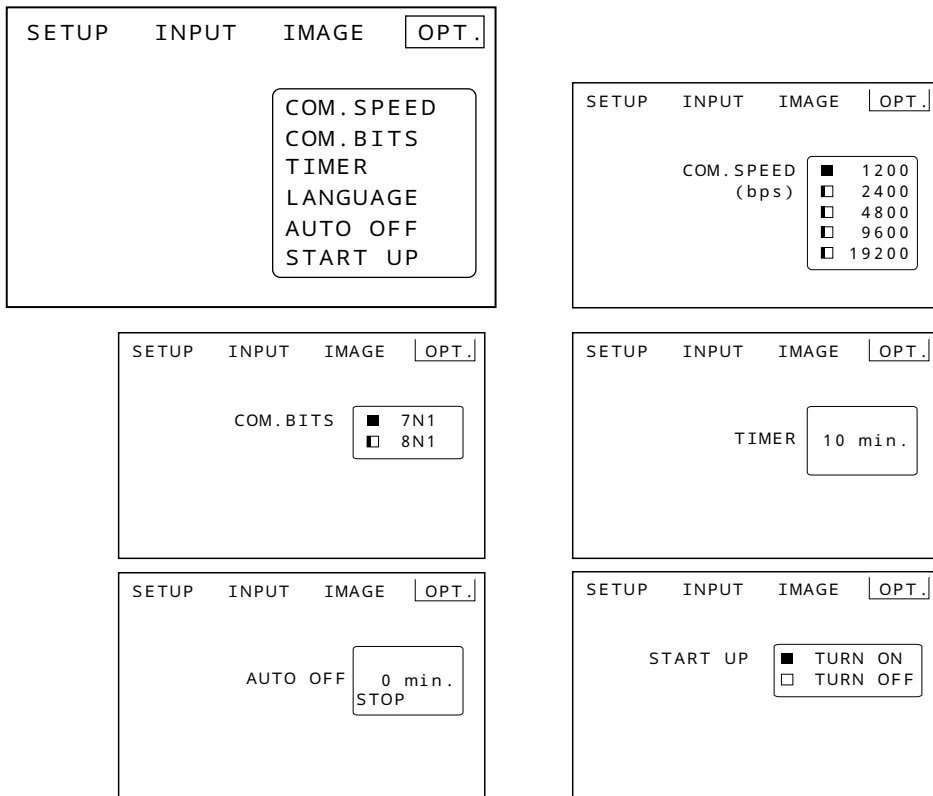
重要

メニューを使用してリセットすると、次のように工場出荷時設定と異なる設定になりますのでご注意ください。

MIRROR : NORMAL BLANK : BLUE MESSAGE : TURN ON

OPT.メニュー

OPT.メニューでは、通信などの各種設定を行います。



| 調整項目 | 調整内容 | 工場出荷時設定 |
|-----------|---|---------|
| COM.SPEED | 通信の伝送速度を選択します。通常は絶対に変更しないでください。システムが正常に動作しなくなる可能性があります。 | 9600 |
| COM.BITS | 通信データのビット構成を選択します。通常は絶対に変更しないでください。システムが正常に動作しなくなる可能性があります。 | 8N1 |
| TIMER | タイマ表示の時間を設定します。サブメニューで0~99分まで設定できます。(使用しないでください) | 15 |
| LANGUAGE | メニュー画面に表示する言語を選択します。サブメニューで英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ノルウェー語、オランダ語から選択できます。英語で使用してください。 | ENGLISH |
| AUTO OFF | 入力信号がなくなってから電源をオフ(スタンバイ状態)にするまでの待機時間を設定します。サブメニューで1~99分まで設定できます。0を設定すると、この機能は無効になります。(使用しないでください) | 0 |
| STARTUP | 電源をオンにしたときに表示される初期画面の表示・非表示を選択します。サブメニューでTURN ON(表示する)とTURN OFF(表示しない)を選択できます。 | TURN ON |

重要

メニューを使用してリセットすると、次のように工場出荷時設定と異なる値になりますのでご注意ください。

COM.SPEED : 1200 COM.BIT : 7N1

登録されている RGB 信号形式

| 解像度 (水平×垂直) | 水平周波数 (kHz) | 垂直周波数 (Hz) | 規格 | 信号モード | 表示モード | 表示画素数 (水平×垂直) |
|----------------|----------------|-------------------|------|-------------|-------|------------------|
| 640×350 | 31.5 | 70.1 | | VGA-1 | 拡大 | 1024×560 |
| 640×400 | 24.8 | 56.4 | | NEC PC9800 | 拡大 | 1024×640 |
| 640×400 | 31.5 | 70.1 | | VGA-2 | 拡大 | 1024×640 |
| 640×480 | 43.3 | 85.0 | VESA | | 拡大 | 853×640 |
| 640×480 | 31.5 | 59.9 | VESA | VGA-3 | 拡大 | 1024×768 |
| 640×480 | 35.0 | 66.7 | | MAC 13"mode | 拡大 | 1024×768 |
| 640×480 | 37.9 | 72.8 | VESA | | 拡大 | 1024×768 |
| 640×480 | 37.5 | 75.0 | VESA | | 拡大 | 1024×768 |
| 800×600 | 35.2 | 56.3 | VESA | SVGA (56Hz) | 拡大 | 1000×750 |
| 800×600 | 37.9 | 60.3 | VESA | SVGA (60Hz) | 拡大 | 1000×750 |
| 800×600 | 48.1 | 72.2 | VESA | SVGA (72Hz) | 拡大 | 1000×750 |
| 800×600 | 46.9 | 75.0 | VESA | SVGA (75Hz) | 拡大 | 1000×750 |
| 800×600 | 43.7 | 85.1 | VESA | SVGA (85Hz) | | 800×600 |
| 862×624 | 49.7 | 74.5 | | MAC 16"mode | 拡大 | 980×735 |
| 1024×768 | 35.5 | interlace 43.5 | VESA | XGA (43Hz) | 縮小 | 853×640 |
| 1024×768 | 48.4 | 60.0 | VESA | XGA (60Hz) | | 1024×768 |
| 1024×768 | 56.5 | 70.1 | VESA | XGA (70Hz) | | 1024×768 |
| 1024×768 | 60.0 | 75.0 | VESA | XGA (75Hz) | | 1024×768 |
| 1152×864 | 67.5 | 75.0 | VESA | | 縮小 | 988×741 |
| 1280×960 | 60.0 | 60.0 | VESA | | 縮小 | 1024×768 |
| 1280×1024 | 64.0 | 60.0 | VESA | SXGA (60Hz) | 縮小 | 960×468 |
| 1280×1024 | 80.0 | 75.0 | VESA | SXGA (75Hz) | 縮小 | 960×768 |

- ・お使いのパソコンの機種によっては、表示できないことがあります。
- ・パソコンを接続する場合、端子形状、信号レベル、タイミング、解像度等の適合性をご確認ください。
- ・入力信号によってはフルサイズで表示しないものがあります。表示画素数でご確認ください。

索引

英字

FIFO バッファを使用する設定, 44
LAMP インジケーター, 77
ON STBY ボタン, 77
ON インジケーター, 76
RS-232C 通信プロトコルの設定, 43
TEMP インジケーター, 77
USB 装置の接続, 21
USB 端子, 9

あ

アイボルト, 8

い

位相, 37
移動用取っ手, 8
色合い, 37
インジケーター, 9, 76
状態と処置, 78

え

映像/音声切替部, 11
映像設定メニュー, 35
位相, 37
色合い, 37
カラー, 37
コントラスト, 37
シャープネス, 37
初期設定, 36
垂直位置, 38
水平位置, 38
水平サイズ, 38
デフォルト, 38
ブライツ, 37
ミュート, 36

お

音声出力端子部, 10
温度警告インジケーター, 78

音量の調整, 33
音量調整ボタン, 9
音量ボタン, 11

か

確定ボタン, 11
かすれ/尾びき補正, 60
画像調整用ワイヤレスリモコン, 88
プロジェクトの映像調整, 87
リモコンの使い方, 89
画面の選択 (マルチディスプレイ), 46
カラー, 37
カンガルーポケット, 7
管理情報
RS-232C 通信プロトコル設定, 63
SC 連絡先, 64
[管理情報] タブ, 63
情報, 64

き

キーボードテーブルの積載重量, 71
キャスター, 7

く

クリック音の設定, 61

け

検出ユニット, 7

こ

光源ランプの交換, 81
コントラスト, 37

し

自己診断
[自己診断] タブ, 64
シャープネス, 37
主電源スイッチ, 7
ショートカットキー切替部, 11
初期設定, 58

[パネル設定] タブ, 61

[パネル補正] タブ, 58

す

垂直位置, 38

水平位置, 38

水平サイズ, 38

ストッパー金具, 14

スピーカー, 7

そ

操作用ワイヤレスリモコン, 11

F ボタンに自動割当, 48

F ボタンに手動割当, 51

F ボタンにファイル操作の割当, 56

F ボタンにマウス操作の自動割当, 53

F ボタンにマウス操作の手動割当, 55

F ボタンの割り当て機能の無効, 57

アドレスの設定, 68

アドレスの変更, 69

映像/音声切替部, 30

映像設定メニュー, 35

音量調整部, 30

使用範囲, 29

ショートカットキー切替部, 31

電池の入れ方, 16

電池の交換, 16

プロジェクト調整部, 31

ボタン操作方法, 30

マルチディスプレイ部, 31

リモコンキー設定, 48

リモコン操作の無効, 69

リモコン操作の有効, 69

リモコンの有効/無効, 61

割り当てた機能の検査 (キー操作), 50

割り当てた機能の検査 (マウス操作), 55

た

タッチ検出部, 7

タッチスクリーン, 7

タッチパネル, 71

クリック音の設定, 61

ダブルクリックの位置設定, 61

タッチパネルのかすれ/尾びき補正, 60

タッチパネルの位置補正, 58

つ

通気口, 8

て

デフォルト, 38

電源 ON STBY ボタン, 9

電源インジケーター, 78

電源タップ, 8, 18

電源タップの電源容量, 71

電源の入/切, 70

電源のスタンバイ/ON, 32

電池の入れ方

映像用調整ワイヤレスリモコン, 87

操作用ワイヤレスリモコン, 16

電池の交換

映像用調整ワイヤレスリモコン, 87

操作用ワイヤレスリモコン, 16

転倒防止用金具, 14

は

パソコン映像の調整, 39

パソコン・AV 機器収納部, 7

パソコン接続端子 (PC1 IN), 9

パソコン接続端子 (PC2 IN), 10

パソコンの入力切替, 34

パソコン入力切替ボタン, 9, 77

パソコンの電源, 70

ひ

ビデオの入力切替, 33

ビデオ入力切替ボタン, 9, 77

ビデオ入力端子 (VIDEO2 IN), 10

ビデオ入力端子 (VIDEO1 IN), 9

ふ

ブライト, 37

ブランクパネル, 8
プロジェクタメニュー
 IMAGE メニュー, 92
 INPUT メニュー, 92
 OPT.メニュー, 94
 SETUP メニュー, 91
 初期設定, 90
フロントパネル, 9
 PC1 IN 部, 19
 VIDEO1 IN 部, 22
 音量調整ボタン, 33
 電源 ON STBY ボタン, 32
 パソコン入力切替ボタン, 34
 ビデオ入力切替ボタン, 33

へ

ヘルプボタン, 11

ほ

方向ボタン, 11
ポートの詳細設定 (RS-232C) , 44

ま

マルチディスプレイ, 66
 アドレスの設定, 68
 アドレスの変更, 69
 操作ワイヤレスリモコンでの操作, 68
 タッチパネル仮想座標設定, 62
 タッチパネルの調整, 67
 ハードウェアの接続, 66
 ビデオカードの確認, 66
 メディアサイトの選択, 46
 リモコン操作の無効, 69
 リモコン操作の有効, 69
 リモコンの有効/無効, 61
マルチディスプレイ部, 11

み

ミュート, 36

め

メッセージ
 光源ランプの交換, 82
 プロジェクタの状態, 79
 フロントパネル制御部の状態, 79
 リコータッチパネルセンサー部の状態, 80
 リコータッチパネルドライバー部の状態, 80
メディアサイトの選択, 46
メニューボタン, 11

も

モニター出力端子部, 10

り

リアパネル, 10
 PC2 IN 部, 20
 VIDEO2 IN 部, 23
リコータッチパネルドライバー, 40
 アンインストール, 44
 インストール (RS-232C) , 43
 インストール (USB) , 40
 インストールの確認, 42
 基本的な使い方, 44
 再インストール, 44
 [利用者選択/設定] ダイアログ, 44
リモコンキー設定, 48
 F ボタンに自動割当, 48
 F ボタンに手動割当, 51
 F ボタンにファイル操作の割当, 56
 F ボタンにマウス操作の自動割当, 53
 F ボタンにマウス操作の手動割当, 55
 F ボタンの割り当て機能の無効, 57
 割り当てた機能の検査 (キー操作) , 50
 割り当てた機能の検査 (マウス操作) , 55
リモコン受光部, 9, 29
 [利用者選択/設定] ダイアログ
 画面選択, 46
 初期設定, 58
 ユーザ (設定情報) の切り替え, 47
 ユーザ (設定情報) の削除, 47
 ユーザ (設定情報) の登録, 46

リモコンキー設定, 48
履歴情報
[SC ログ] タブ, 65

れ

レベラー, 8